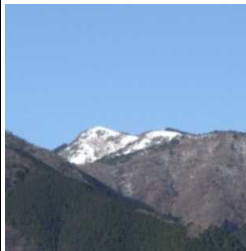





1の1	ジャンル	自然・山
	名称	せんがみね 千ヶ峰
解説	<p>ひがしはりまちいき もつと たか やま たか 東播磨地域で最も高い山で、高さは1,005m。市原や三谷 などからとざんどう まいとし あき しょうがっこう とざん のぼ やま てんき ひ ちょうじょう あかしかいきょうおおはし み 登る山。天気の良い日には、頂上から明石海峡大橋が見 える。</p>	




1の2	ジャンル	自然・山
	名称	みくに だけ 三国岳
解説	すぎはらだに いちばん きた たか やま とりま とざんぐち 杉原谷の一番北にある高さ855mの山。鳥羽に登山口が ある。なまえ ゆらい はりま たじま たんば みつ くに ある。名前の由来は、播磨・但馬・丹波の三つの国にまた がる山であることから。	





1の3	ジャンル	自然・山	
	名称	りゅうが たけ 竜ヶ岳	
解説	きよみず ひがし たか やま ひょうご やま せん 清水の東にそびえる高さ817mの山。兵庫の山100選に えら きよみず とざんぐち 選ばれている。清水に登山口がある。		


1の4	ジャンル	自然・山	
	名称	おおい どやま 大井戸山	
解説	きよみず たんじ すその ひろ たか やま 清水から丹治にかけて裾野が広がる高さ794mの山。ラベンダーパークにとざんぐち がっこう ほうこう ほうかく み 登る山。学校から北東の方角に見える山。		


1の5	ジャンル	自然・山	
	名称	さき みね 篠ヶ峰	
解説	たんじ むら ひがしがわ たか やま ちょうじょう ぼう 丹治の村の東側にそびえる高さ827mの山。頂上には防 さいぎょうせいむせん でんぱ どう た 災行政無線の電波塔などが建っている。		


1の6	ジャンル	自然・山
	名称	しもやま 下山
解説	<p>がっこうにしがわみやますそのいまこうじょう 学校から西側に見える山。なだらかな裾野に、今は工場が たむかしうしほうぼくじょうはるあき 建っているが、昔は牛の放牧場になっていて、春や秋に しょうがっこうべんとうでふゆ は、小学校からお弁当をもってピクニックに出かけたり、冬 にはたけ 竹スキーをしたりした。</p>	


---


1の7	ジャンル	自然・川	
	名称	すぎはら がわ 杉原川	
解説	こうく ちゅうおう なが おお かわ せいりゅう 校区の中央を流れる大きな川。清流でイッサンコ、ヤマメな どの さかな にしわきし か こ が わ ごうりゅう どの魚がすんでいる。西脇市で加古川と合流する。		

1の8	ジャンル	自然・川	
	名称	おおたま たにがわ 大玉谷川	
解説	みくにだけ やまよりかみがわ なが で たにがわ すぎはらがわ さいしょ ごう 三国岳から山寄上側に流れ出る谷川。杉原川と最初に合 りゅう たにがわ 流する谷川。		


1の9	ジャンル	自然・川	
	名称	みやたにがわ 宮谷川	
解説	みくにだけながたにがわとりまみちえきふきんすぎはらがわごう 三国岳から流れる谷川。鳥羽の道の駅付近で杉原川に合 りゆう 流する。		


1の10	ジャンル	自然・川	
	名称	とりまひがしたにがわ 鳥羽東谷川	
解説	とりまひがしすぎはらがわごうりゅうたにがわ 鳥羽の東から杉原川に合流する谷川。		


1の11	ジャンル	自然・川
	名称	みやまえ たにがわ 宮前谷川
解説	きよみず にしのみやじんじゃ よこ なが たにがわ 清水の西宮神社の横を流れる谷川。	





1の12	ジャンル	自然・川	
	名称	おこ だにたにがわ 大小谷谷川	
解説	きよみず しも      ていりゅうじょ まえ      なが      たにがわ 清水下のバス停留所前に流れてくる谷川。		




1の13	ジャンル	自然・川		
	名称	きよみずひがしたにがわ 清水東谷川		
解説	きよみず　ひがしがわ　やま　きよみず　むら　なか　なが　おお　たにがわ 清水の東側の山から清水の村の中を流れる大きな谷川。			


1の14	ジャンル	自然・川	
	名称	とどろきたにがわ 轟 谷川	
解説	とどろき きた なが かわ こくぞうどう そば なが 轟の北を流れる川。虚空蔵堂の側を流れる。		

1の15	ジャンル	自然・川		
	名称	いち はら たにがわ 市原谷川		
解説	せんがみね いちはら                      なが              かわ              なが              およそ 千ヶ峰市原コースから流れる川。長さは約1.3km。			

1の16	ジャンル	自然・川	
	名称	たんじたにがわ 丹治谷川	
解説	ささがみね　さくらこうえん　とお　なが　かわ　なが　やく 篠ヶ峰から桜公園を通して流れる川。長さは約2km。		

1の17	ジャンル	自然・川	
	名称	みだにがわ 三谷川	
解説	ハーモニーパークから流れる川。長さは約3km。地元ではみだに たにがわ三谷谷川と呼ぶ。		

1の18	ジャンル	自然・川	
	名称	たき たにがわ 滝の谷川	
解説	はせがい ひがし はせがいたにがわ なが かわ 箸荷の東から箸荷谷川に流れる川。		


1の19	ジャンル	自然・川	
	名称	しゃくしろたにがわ 杓城谷川	
解説	たき たにがわ おな はせがいたにがわ なが かわ 滝の谷川と同じく、箸荷谷川に流れる川。		


1の20	ジャンル	自然・川	
	名称	はせがいたにがわ 箸荷谷川	
解説	はせがい むら なか なが おお かわ なが やく 箸荷の村の中を流れる大きな川。長さは約1km。		

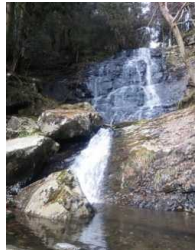
1の21	ジャンル	自然・川	
	名称	かどむらたにがわ 門村谷川	
解説	かどむら むら なか なが かわ なが やく 門村の村の中を流れる川。長さは約2km。		


1の22	ジャンル	自然・川	
	名称	かわたにがわ 河谷川	
解説	かんのんじ みなみ かばさか なが かわ 観音寺の南、樺坂を流れる川。		





1の23	ジャンル	自然・滝	
	名称	おんたき みやたにがわ 雄滝 (宮谷川)	
解説	とりま みやたにがわ 鳥羽の宮谷川にある落差およそ6mの滝。 三国峠の林道 ぞいにある。		


1の24	ジャンル	自然・滝	
	名称	めんたき みやたにがわ 雌滝 (宮谷川)	
解説	とりま みやたにがわ 鳥羽の宮谷川にある落差およそ3mの滝。 三国峠の林道 ぞいにある。		

1の25	ジャンル	自然・滝	
	名称	おんたき みだにおおたき 雄滝 (三谷大滝)	
解説	せんがみね みだに とざん 千ヶ峰三谷登山コース沿いにある落差およそ15mの滝。		


1の26	ジャンル	自然・滝	
	名称	めんたき みだにおおたき 雌滝 (三谷大滝)	
解説	せんがみね みだに とざん 千ヶ峰三谷登山コース沿いにある落差およそ40mの滝。		


1の27	ジャンル	自然・道	
	名称	こくどう ごう 国道427号	
解説	すぎはらだに なんぼく とお いちばん おお どうろ ばんしゅう 杉原谷を南北に通る一番大きな道路。播州トンネル出口 から奥豊部の端まで11.7km。		

1の28	ジャンル	自然・道	
	名称	しゅようち ほうどう たんば か み せん ごう 主要地方道丹波・加美線78号	
解説	きよみず うんもんじ のぼ みち い みち りょうほう 清水の雲門寺へ登る道とラベンダーパークへ行く道、両方が けんどう ごうせん が県道78号線。		


1の29	ジャンル	自然・道	
	名称	けんどう かどむら さんなんせん ごう 県道 門村・山南線293号	
解説	はせがい むら つう みち じっさい たんばし さんなんちょう い 箸荷の村に通じる道。実際は丹波市山南町へは行けな い。		


1の30	ジャンル	自然・道	
	名称	町道・林道(ちょうどう・りんどう)	
解説	すぎはらだにちく ちょうどう りんどう ろせん 杉原谷地区のほとんどが町道です。林道は36路線およそ 40Kmもある。		


1の31	ジャンル	自然・峠	
	名称	ばんしゅせうげ 播州峠	
解説	たんばし あおがきちょう みち ま なか 丹波市青垣町へつながる道。トンネルのちょうど真ん中 あたりからすぎはら だにしょうがっこう く 杉原谷小学校区になる。		


1の32	ジャンル	自然・峠	
	名称	みくにとうげ 三国峠	
解説	みくにだけ とざんぐち のぼ とうげ むかし ひと ある とお 三国岳登山口から登る峠、昔の人はよく歩いて通っ た。		


1の33	ジャンル	自然・峠	
	名称	きよみずさか 清水坂	
解説	たんば はりま さかい とうげ さとやま たかちょう 丹波・播磨の境となる峠。里山ボランティアによる多可町と		
	たんばし こうりゅう おこな 丹波市の交流も行われている。		

1の34	ジャンル	自然・峠	
	名称	いちはらとうげ 市原峠	
解説	せんがみね いちはら とざん 千ヶ峰市原登山コースへの道、 <sup>みち</sup> 神河町新田に通じる。 <sup>かみかわちようしんでん</sup> <sup>つう</sup>		


1の35	ジャンル	自然・峠	
	名称	おおみ さか 大見坂	
解説	はせがいさんなんちょうめみちじっさいつうこう 箸荷から山南町へ抜ける道。実際は通行できない。		

1の36	ジャンル	自然・峠	
	名称	かばさかとうげ 樺坂峠	
解説	むかし こうざん 昔、鉱山があった峠。とうげ かばさか こうざん 樺坂鉱山。		


1の37	ジャンル	自然・池	
	名称	やましりいけ 山城池	
解説	うんもんじうら 雲門寺の裏にあるため池。いけちよすいりよう 貯水量は700m³。		


1の38	ジャンル	自然・池	
	名称	たかやまいけ 高山池	
解説	きよみず ほくぶ たいいくかん ひがし いけ ちよすいりよう 清水の北部体育館の東にある池。貯水量は600m³。		


1の39	ジャンル	自然・池	
	名称	しんぐういけ 神宮池	
解説	いちらは こうこう 市原の孝行ロードのそばにある池。貯水量は12250m <sup>3</sup> 。 すぎはら だに ばんめ おお いけ 杉原谷で2番目に大きな池。		





1の40	ジャンル	自然・池
	名称	おおいけ 大井池
解説	かどむらじょうご じ した いけ ちよすいりょう 門村浄居寺の下にある池、貯水量は2500m <sup>3</sup> 。	





1の41	ジャンル	自然・池	
	名称	さらいけ 皿池	
解説	はせがい くみあい おおいけ 箸荷の組合大池のそばにある小さな池。貯水量は12000 m <sup>3</sup> 。		


1の42	ジャンル	自然・池	
	名称	こいけ 小池	
解説	はせがい くみあい おおいけ 箸荷の組合大池のそばにある小さな池。貯水量は500 m <sup>3</sup> 。 <small>ちい いけ ちよすいりょう</small>		


1の43	ジャンル	自然・池	
	名称	くみあい おおいけ 組合大池	
解説	はせがいおおいけ 箸荷大池とも呼ばれる。すぎはら だに もっと おお いけ しょうがっこう 杉原谷で最も大きな池。小学校の プールおよそ93杯分 <small>はいぶん みず た</small> の水を貯めることができる。		

1の44	ジャンル	自然・魚	
	名称	ヒラベ	
解説	せいしき　なまえ 正式な名前はヤマメ。サクラマスのうち海に降りず川にすみついたもの。 うみ　お　かわ		


1の45	ジャンル	自然・魚	
	名称	アマゴ	
解説	サツキマスのうち <sup>うみ</sup> 海へ <sup>お</sup> 降りず <sup>かわ</sup> 川にすみついたもの。 <sup>あか</sup> 赤い <sup>はん</sup> 斑点 <sup>てん</sup> がある。		


1の46	ジャンル	自然・魚	
	名称	ゴトンボ	
解説	せいしき   なまえ 正式な名前はアブラハヤ。ぬめりが強い。 <small>つよ</small>		


1の47	ジャンル	自然・魚	
	名称	アカシチ	
解説	せいしき　なまえ 正式な名前はアカザ。あか 赤っぽく、せびれとむねびれにどくばり 毒針 をもつ。ケンタとも呼ばれる。		


1の48	ジャンル	自然・魚	
	名称	ギンタ	
解説	せいしき　なまえ 正式な名前はギギ。ナマズ科 <small>か　さかな　どく</small> の魚、毒はない。		




1の49	ジャンル	自然・魚	
	名称	アカモト	
解説	せいしき　なまえ 正式な名前はオイカワ。はんしよくき 繁殖期(5月～8月)のオスはきれいな模様 <small>もよう</small> ができる。		


1の50	ジャンル	自然・魚	
	名称	イダ	
解説	せいしき　なまえ 正式な名前はウグイ。こぼね　おお　ねこ　た 小骨が多く、猫も食べたがらないのでネコヨラズとも呼ばれる。		


1の51	ジャンル	自然・魚	
	名称	イッサンコ	
解説	せいしき   なまえ   たいちよう   ていど   ちい   さかな 正式な名前はヨシノボリ。体長5cm程度の小さな魚、てんぷらやつくだににするとおいしい。		


1の52	ジャンル	自然・魚	
	名称	ババト	
解説	せいしき　なまえ　　　　　かわぞこ　　す　　あたま　　おお　　さかな 正式な名前はカジカ。川底に住む頭の大きな魚。		


1の53	ジャンル	自然・魚
	名称	ヨツメ
解説	<div><div><div>せいしき</div><div>なまえ</div></div><div>正式な名前はオヤニラミ。</div><div><div>ほんとう</div><div>め</div><div>め</div></div><div>本当の目のうしろに目のような</div><div><div>もよう</div><div>模様</div></div><div>がある。</div></div>	





1の54	ジャンル	自然・魚	
	名称	メダカ	
解説	<sup>すぎはらだに</sup> 杉原谷では <sup>ぜつめつ</sup> 絶滅したと言われているが、 <sup>さいきんせいそく</sup> 最近生息しているとのうわさがある。		


1の55	ジャンル	自然・魚	
	名称	ウナギ	
解説	<sup>かわ</sup> 川で生まれて、 <sup>うみ</sup> 海で育ち <sup>かわ</sup> 川に戻ってくる。まだまだなぞの <sup>おお</sup> 多い魚。かば焼きにするとおいしい。 <sup>へいせい</sup> 平成22年頃にも、 <sup>みだに</sup> 三谷 <sup>たにがわ</sup> 谷川で捕れたことがある。		


1の56	ジャンル	自然・魚	
	名称	ドジョウ	
解説	<sup>さいきん</sup> 最近ではあまり <sup>み</sup> 見かけなくなった。 <sup>すいろ</sup> 水路やたんぼにすんでいる。		


1の57	ジャンル	自然・植物	
	名称	シュンラン	
解説	<sup>きゅうかみちよう</sup> ランのなかま。旧加美町の <sup>ちようか</sup> 町花。		

1の58	ジャンル	自然・植物	
	名称	<sup>ばいかも</sup> 梅花藻	
解説	<sup>か</sup> キンポウゲ科の <sup>たねんそう</sup> 多年草で、 <sup>さんちせiryū</sup> 山地清流など澄んだ水に <sup>す</sup> 自 <sup>みず</sup> 生。 <sup>い</sup> 大袋を流れる <sup>なが</sup> 水路で、 <sup>すいろ</sup> 毎年5月から <sup>まいねん</sup> 8月頃までに <sup>が</sup> 見 <sup>つ</sup> られ、 <sup>うめ</sup> 梅の花のよう <sup>はな</sup> に <sup>はな</sup> かわいい花を持つ <sup>も</sup> 水草が、 <sup>みずくさ</sup> 道行く <sup>みち</sup> 人の <sup>ひと</sup> 心 <sup>こころ</sup> を和ませ <sup>なご</sup> てくれる。		


1の59	ジャンル	自然・植物	
	名称	ユキノシタ	
解説	かわ ちか しめ 川の近くの湿ったところに咲く、じみだけどかわいい花。		


1の60	ジャンル	自然・植物	
	名称	ダンジ	
解説	せいしき　なまえ 正式な名前はイタドリ。ポキッとおかわ と折って皮をむくと食べた れる。ちょっとすっぱい。		


1の61	ジャンル	自然・植物	
	名称	ヘビイチゴ	
解説	ドクイチゴともいわれるが、 <sup>どく</sup> 毒はない。		


1の62	ジャンル	自然・植物	
	名称	シバハリ	
解説	せいしき　なまえ 正式な名前はアマタケ。かさのうらが、あみのようなかたち をしている。食 <sup>た</sup> べられる。		


1の63	ジャンル	自然・植物
	名称	ヒラタケ
解説	みそ汁の <sup>しる</sup> 具 <sup>ぐ</sup> にするとおいしい。	



---


1の64	ジャンル	自然・植物	
	名称	マツタケ	
解説	食用きのこの王者、むかしはいっぱい生えていたらしい。		


1の65	ジャンル	自然・植物	
	名称	サルノコシカケ	
解説	さるが腰かけられるくらいおおきくなる。漢方薬のざいりょうにもつかわれる。		


1の66	ジャンル	自然・植物	
	名称	タラノキ	
解説	くきには鋭くとがったとげがいっぱい。新芽をてんぷらにすると、とてもおいしい。		

1の67	ジャンル	自然・植物	
	名称	ゼンマイ	
解説	シダ植物。芽が出てすぐの若葉は渦を巻いている。		


1の68	ジャンル	自然・植物	
	名称	ワラビ	
解説	シダ植物。根からとれるデンプンから、わらびもちが作られる。		

1の69	ジャンル	自然・植物	
	名称	フキノトウ	
解説	フキの <sup>あか</sup> 赤ちゃん。 <sup>ゆき</sup> 雪どけのころに <sup>は</sup> 生えてくる。 <sup>こま</sup> 細かくきざんで味噌 <sup>みそ</sup> と炒 <sup>いた</sup> めるとおいしい。		


1の70	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	オオサンショウウオ	
解説	くに てんねんきねんぶつ たいちよう いじょう みに 国の天然記念物、体長70cm以上になるが、めったに見つ けられない。みだに いちはら たにがわ み 三谷や市原の谷川で見つかったことがある。		

1の71	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	モリアオガエル	
解説	くに てんねんきねんぶつ 国の天然記念物、みずたまりのうえ き えだ あわ 上の木の枝に泡でつつんだたまご う つ 卵を産み付ける。たんぼの あぜ う つ 畦に生み付けることもある。		


1の72	ジャンル	自然・その他動物
	名称	ニホンアマガエル
解説	どこにでも <sup>み</sup> 見られる <sup>ちい</sup> 小さくかわいいかえる。	



---

1の73	ジャンル	自然・その他動物
	名称	トノサマガエル
解説	よく <sup>み</sup> 見るカエル、からだのもようがとくちょう。	



---





1の74	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	カジカガエル	
解説	きれいな <sup>かわ</sup> 川にすむ。「フィフィ」と美しく <sup>うつく</sup> 鳴く。 <sup>な</sup>		


1の75	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	イモリ	
解説	みずべりょうせいのいしょうどうぶつはらあか 水辺にすむ両生類の小動物。腹が赤い。		


1の76	ジャンル	自然・その他動物
	名称	ヤモリ
解説	ヤモリとは <sup>いえ まも</sup> 家を守るの意味。 <sup>い み</sup> 家の <sup>いえ まわ</sup> 周りや <sup>いえ なか</sup> 家の中で <sup>み</sup> 見かけることがある。 <sup>すがたかたち</sup> 姿形はイモリに <sup>に</sup> 似ているが、ヤモリは <sup>はちゅうるい</sup> 爬虫類の <sup>なかま</sup> 仲間。	



--


1の77	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ヒメボタル	
解説	たいちょう ちい は ぎ てんめつ 体長7mmほどの小さなほたる。歯切れよく点滅する。		


1の78	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ヘイケボタル	
解説	ゲンジボタルとくら比べややこがた小型のほたるの蛍。		

1の79	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ゲンジボタル	
解説	かわ みず よご かわ こうじ かず へ ほ ご 川の水の汚れや川の工事に により数が減っていたが、保護 かつどう けっか さいきん ふ 活動の結果、最近 は増えている。		


1の80	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ゲンゴロウ	
解説	きれいな水田、池に住む昆虫。水の中に住む甲虫の中で は国内最大級。(体長33mmから40mm)		

1の81	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	クロゲンゴロウ	
解説	ゲンゴロウより <small>ちい</small> 小さく、 <small>はね</small> 羽が <small>くろ</small> 黒い。		


1の82	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ホウネンエビ	
解説	なつ はじ すいでん およ み 夏の初めの水田であおむけに泳いでいるのを見ることができる。		

1の83	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	カワエビ	
解説	かわ いけ たんすい す 川や池など淡水に住むエビ。生きているときは体が透き とお 通っている。		


1の84	ジャンル	自然・その他動物
	名称	ニホンジカ
解説	オスにはりっぱな角 <small>つの</small> があり、毎年 <small>まいとしは</small> 生え代 <small>か</small> わる。	




1の85	ジャンル	自然・その他動物
	名称	ニホンザル
解説	たまに <sup>み</sup> 見かけるが、 <sup>ちか</sup> 近寄らないように。	


---


1の86	ジャンル	自然・その他動物
	名称	イノシシ
解説	こどものイノシシは、 <small>うりぼう</small> 瓜坊とよばれる。	





1の87	ジャンル	自然・その他動物
	名称	タヌキ
解説	おなじみのタヌキ。おくびょうな <sup>せいかく</sup> 性格。	



---


1の88	ジャンル	自然・その他動物
	名称	キツネ
解説	<sup>いぬ</sup> 犬とよく似 <sup>に</sup> ているが、しっぽが <sup>おお</sup> 大きい。	



---


1の89	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	イタチ	
解説	あし <sup>みじか</sup> 足が短く <sup>どう</sup> 胴が <sup>なが</sup> 長い、すばしっ <sup>に</sup> こく逃 <sup>あし</sup> げ足がはやい。		


1の90	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	アライグマ	
解説	タヌキににているが、ふさふさした <sup>おお</sup> 大きな <sup>とくちょう</sup> しっぽが <sup>がい</sup> 特徴。外国 <sup>こく</sup> から日本 <sup>にほん</sup> に入ってきた <sup>はい</sup> 動物 <sup>どうぶつ</sup> 。		


1の91	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ヌートリア	
解説	ねずみににているが、ね <sup>くらい</sup> こ位の <sup>おお</sup> 大きさである。外国 <sup>がいこく</sup> から日本 <sup>にほん</sup> に入ってきた <sup>はい</sup> 動物 <sup>どうぶつ</sup> 。		


1の92	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ハツカネズミ	
解説	家 <sup>いえ</sup> の中 <sup>なか</sup> でもたまに見 <sup>み</sup> かける小 <sup>ちい</sup> さなねずみ。		

1の93	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	モグラ	
解説	畑 <sup>はたけ</sup> やたんぼ <sup>つち</sup> の土 <sup>なか</sup> の中 <sup>す</sup> に住んでいる。トンネル <sup>めいじん</sup> ほりの名人。		

1の94	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	イシガメ	
解説	最近 <sup>さいきん</sup> ほとんど見 <sup>み</sup> かけなくなった。15cmから20cm <sup>くらい</sup> の力 <sup>ちから</sup> 。		

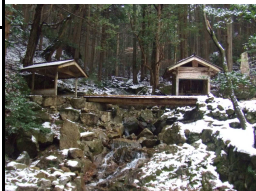
2の1	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	やまよりかみ あおたまじんじや 山寄上・青玉神社	
解説	まつ 祀られている神は天目一箇命 と五百箇盤石命で、建てられた年代はよく分らない。ほんでん はいでん 本殿と拝殿があり、18戸の氏子をもっている。秋まつりでは、曳き山が集落内を回る。		


2の2	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	とり ま あおたまじんじや 鳥羽・青玉神社	
解説	あまのたまのみこと おおとしみおやがみのみこと まつ 天戸間見命 と大歳御祖命 を祀っている。建てられた年代はわからない。最初、みくにだけ ちようじよう 三国岳の頂上にあつたが、のちにさん ろく いま ばしよ うつ つた 山麓に近い今の場所に移されたと伝えられている。また一説では、しき あまのまひとつのじんじや あまのたまのみこと 式での天目一箇神社 といわれている。天戸間見命 とはあまのまひとつのかみ べつめい あおたま みこと しん ぼく 天目一箇神の別名で、青玉というのは、命が神木におふ 触れになったところ、かため しつめい あおいろ 片眼を失明されて青色になったことからそう呼ばれるようになったという言い伝えがある。ほんでん 本殿と へいでん はいでん 幣殿と拝殿があり、けいだい りんりつ しず 境内には杉が林立し、静かな空間を作り出している。中では、はいでん おが すぎ 拝殿を拝むように立つ7本の杉は、樹齢600年～1000年という大きな木で、けんしていてんねんきねんぶつ 県指定天然記念物である。		

2の3	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	きよみず うん もん じ 清水・雲門寺	
解説	おうえい ぶつ とくだいづ ぜんじ ひら りん ざいしゆ 応永8年(1401年)仏徳大通禅師によって開かれた臨済宗 うみょうしんじ は かん ぜ おん ぼ さつ ほん ぞん 妙心寺派のお寺。十一面観世音菩薩を本尊としている。多可町では、ぜん どうじよう ゆうめい にほんけんちく すい 禅の道場として有名なお寺で、日本建築の粋をあつ だ い がらん ていえん す ば 集めた大伽藍と庭園は素晴らしく、わびさびを感じさせてくれる。主な檀家は、だんか やまよりかみ とり ま きよみず とどろきにしま やまぐち 山寄上、鳥羽、清水、轟、西山、山口である。		






2の 4	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	きよみず いぼやくし 清水・揖保薬師	
解説	きよみず かみ 清水上のバス停から西の谷をはい お堂にある箒でイボを撫でると、イボが治るといわれている。		





2の 5	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	きよみず 清水	にしのみやじんじや 西宮神社
解説	つみはねやえことしるぬしのみことまつそうりつねんだいおうえい 積羽八重詞代主命を祀る。創立年代は分らない。応永1 7年(1410年)12月に本殿を再建し、青玉大歳大明神と言 い、同じ集落の山城にあった天神を東宮と呼んでいたこ とから、方角から西にあるこの神社を西宮 というように なったと伝えられている。現在の本殿は安政5年(1858年) に再建。幣殿と拝殿をあわせもっている。		
			


2の 6	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	とどろき　こくぞう 轟・虚空蔵さん	
解説	げじゆん　しゅうらく　じよせい　あつ　たま　よ 8月下旬になると、集落の女性たちが集まり、お玉と呼ば れるこうはくだんご　まつ　じゆず　く れる紅白団子を祀って、数珠繰りが行われる。		





2の7	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	とどろき かわかみじんじや 轟・河上神社	
解説	<p>とどろき やまぐち にしやま しゅうらくきょうゆう じんじや か れい み こし 轟・山口・西山の3集落共有の神社。昔から、華麗な御輿          があり、毎年10月、各地区から当番の担ぎ手が白装束で          3集落を回って練り歩く。約20年あまり前から子ども御輿          が3台加わり、盛大なまつりとなっている。毎年3月に、区          長さんの指示のもと、1年間お当番を勤められた『過番』          と、これから受けられる『上番』がともに拝殿でお禱状箱の          受け渡しをして、河上神社のお当番交替(引継)を行う。ま          た、昔、南の和田垣の上の台地の山に引場ヶ谷と呼ばれ          る平地があり、ここで弓的がなされていたという言い伝えが          あることから、悪払いの弓的の行事がお禱渡しの日に行わ          れる。狛犬が上にそり返っている。</p>		 


2の8	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	とどろき かわすそ じんじや 轟・川裾神社	
解説	<p>かわかみじんじやきたがわ ちい やしろ まつ かわすそ 川上神社北側の小さな社に祀られており、川裾まつりのと          きは、杉原川沿いの大きな岩の上に神体が祀られる。</p>		


2の9	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	いちばら せんじょう じ 市原・専浄寺	
解説	<p>じょう どしゅう てら すうじゅうねんまえ きゅうしんしやうにん ひら つた 浄土宗のお寺で、三百数十年前、炭心上人が開いたと伝          えられている。本尊は阿弥陀如来(国宝級)。背の高さ四尺          八寸の木造の坐像で、金色に美しく輝いている。主な檀家          は市原。</p>		


2の 10	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	いちほら くまのじんじや 市原・熊野神社	
解説	いざなぎのみこと いざなみのみこと おおとしのかみ まつ そうりつ 伊弉諾尊、伊弉冉尊、大年神 を祀っており創立はよ く分からない。古検地以降に建てられたものとみられる。第 一・第三本殿と拝殿がある。毎年、この神社の宵宮まつり を盛り上げるために、隣保対抗の村芝居が行われている。		
			


2の 11	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	たんじ にっ こう じ つうしやう もんじゅ どう 丹治・日光寺（通称 文殊堂）	
解説	つうしやう もんじゅ どう にっ こう じ もんじゅ ぼさつ 通称、文殊堂。日光寺の文殊菩薩は、今から約1200年前 に『千日の行』に訪れた法道仙人の手によってまつ られており、ち え もんじゅさま おお さんばいしゃ されており、知恵の文殊様として多くの参拝者がある。1月 げじゅん ち え じゅうしよく かご の どう 下旬には知恵の文殊まつりがあり、住職が籠に乗ってお堂 をおとず ほうよう おこな を訪れ、法要が行われる。		


2の 12	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	おおぶくろ だいじんぐう 大袋・大神宮	
解説	じもと　よ　むかし　いせじんぐう 地元では「だいじゅんさん」と呼ばれる。その昔、伊勢神宮 にお参りするのにはたいへんとお　べんり　わる　ちか に大変遠く、便利が悪かったので、近くに あまてらすおおみかみ　まつ　ようぼう　ふ　げんざい　まつ 天照大宮神をお祀りする要望が増え、現在のところにお祀 りしている。		


2の 13	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	おおぶくろ かまたり じんじや 大袋・鎌足神社	
解説	てん じ てんのう つか たいか ねん たいか かいしん おこな 天智天皇に仕え、大化1年(645年)に大化の改新を行った ふじわらのかまたり まつ じんじや 藤原鎌足を祀る神社。		

2の 14	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等		
	名称	みだに おおとしじんじや 三谷・大歳神社		
解説	まつ かみ おおとしのかみ そうりつねんだい わ めいじ 祀られている神は大歳神で、創立年代は分からない。明治 41年(1908年)からはうかのみたまのみこと ほんだわけのみこと あ まつ ほんでん へいでん はいでん 祀るようになった。本殿と幣殿と拝殿がある。秋まつりで は、ずもう ほうのう 子ども相撲を奉納する。			


2の 15	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等		
	名称	はせがい おおとし じんじや 箸荷・大歳神社		
解説	まつ 祀られている神は大歳神で、創立年月日は分からない。元 ろく 禄13年(1700年)に本殿を再建した。本殿と拝殿がある。2 月にはももて 百々手まつりがある。			


2の 16	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	はせがい あたご じんじや 箸荷・愛宕神社	
解説	はせがいおおいけ 箸荷大池の上の山の中にある。8月末にあたご ひ がある。		

2の 17	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等		
	名称	はせがい かわすそじんじや 箸荷・川裾神社		
解説	けんどうかどむら さんなんせん ちょうどうかわひがしせん まじ こうさてん みなみがわ 県道門村・山南線と町道川東線が交わる交差点の南側の こみや まつ まいとし がつ かわすそ おこな 小宮に祀られており、毎年7月に川裾まつりが行われる。			


2の 18	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	かどむら じょうごぜんじ 門村・浄居禅寺	
解説	りんざいしゅうみょうしん じ は ほんぞん かんぜ おん ぼ さつ むかし 臨済宗妙心寺派のお寺で、本尊は観世音菩薩。昔からこ こにはかんのんどう えいろく すぎ はらひょうだ ゆう 観音堂があったが、永禄8年(1565年)、杉原兵太夫 やすひさ かいちく じょうごじ な じぶん ぼ だい じ 安久がこれを改築し、浄居寺という名にして自分の菩提寺 としたといわれている。主な檀家は、おも だんか いちはら たんじ おおふくろ みだ 谷、箸荷、門村。		




2の 19	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等
	名称	かどむら　いつくしまじんじや 門村・巖島神社
解説	<p>いちきしまひめのみこと　ほんだわけのみこと　まつ　そうけんねんだい　わ 一杵島比売命と誉田別命を祀る。創建年代は分からない。</p> <p>となりにある浄居寺の鎮守として創立されたと伝えられる。</p> <p>この地に城を造ったといわれる杉原兵太夫安久に崇敬され ていたが、天正2年(1574年)、杉原兵太夫安久が討ち 滅ぼされて荒廃したと伝えられている。貞亨3年(1686 年)、社殿を改築し再興された。営造物としては、本殿、祝 詞殿、拝殿がある。</p>	
		

2の 20	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	すぎはら さいきょう じ 杉原・西教寺	
解説	じょうど しんしゅうほん がんじ は てら ほんぞん ぶんか 浄土真宗本願寺派のお寺で、本尊は文化6年(1809年)4 月20日に献納された阿弥陀如来。お寺が開かれたのは慶 長7年(1602年)だが、再度火災に遭い、現在の本堂は戦 後に再建されたものである。安永2年(1773年)の名のあつ た喚鐘は戦時中に提供され、惜しくも今はない。主な檀家 は杉原。		


2の 21	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	すぎはら はちまんじんじや 杉原・八幡神社	
解説	けいちょう ころ ちい ほくら めいじ ねん はちまんじんじや 慶長の頃から小さな祠があり、明治16年から八幡神社と		
	よ 呼ばれるようになった。 ほんだわけのみこと まつ 誉田別命が祀られている。 以前は こくどう ぞ ほ どう しんせつ こうじ ともな しゅうらく へく 国道沿いにあったが、歩道の新設工事に伴い、集落の北 せい やまぎわ うつ 西の山際に移された。1月に厄神祭が行われる。		





2の 22	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	おく とよべ おおとし じんじや 奥豊部・大歳神社	
解説	しゅうらく にし さんちゅう やしろ おおとし かみ まつ めいじ 集落の西の山中に社があり、大歳神が祀ってある。明治16年に創建されたものである。		








2の 22	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	おく とよ べ じょうしょうじ 奥豊部・浄照寺	
解説	<p>主な檀家は奥豊部。浄土真宗本願寺派のお寺。もとは、境内に祠を祀り、真宗の総道場として栄えていたが、寛政8年(1796年)、本山より本尊の阿弥陀如来を勧請し開いたともいわれている。</p>		


2の 23	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	かんのん じ 観音寺・観音寺	
解説	<p>天平宝字(757年)のころ、法道仙人によって開かれたと伝えられる真言宗高野山派のお寺。本尊は十一面観音坐像。不動明王、毘沙門天を脇待に安置されているこの寺は、もともと堂山に築かれていたが、天正年間(1573年～1592年)に戦で焼け、山麓の現在地に移されたようである。主な檀家は観音寺。</p>		

2の 24	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	かんのん じ あおくら じんじや 観音寺・青倉神社	
解説	<p>観音寺の山の中腹に、大きな岩板の上でひっそりとたたずむ祠は、神戸の湊川神社の書物にも記されている神様で、チョロチョロと流れ出る岩清水で目を洗うと、目の病気が治ると言い伝えられている。目の病気に大変ご利益があるとわれ、多くの人々がお参りされる。</p>		

2の 25	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	かんのん じ ふ だうみょうおう 観音寺・不動明王	
解説	<p>不動さんは『清め不動さん』と言い、旧観音寺というお寺の入口にある。不動明王は、背後に炎を負い、怒った顔で悪をこらしめる激しい気性の仏様だが、同時に、人の悩み事を聞き入れてくれるやさしい仏様でもある。</p>		

2の 26	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	かんのん じ おおとし じんじや 観音寺・大歳神社	
解説	かばさかこうざん けいえい いくの こうざん まも がみ 樺坂鉦山を経営していた生野の人たちが、鉦山の守り神と して石舟にお祀りしたと伝えられている。		

2の 27	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡		
	名称	とり ま あおたま じんじや めおと すぎ 鳥羽・青玉神社 夫婦杉		
解説	しょうわ ねん あおたまじんじや ぐんせいおおすぎ けんしてい 昭和43年(1968年)、青玉神社の群生大杉7本は県指定 てんねんきねんぶつ じゅ れいせんねん すぎ の天然記念物となった。樹齢千年ともいわれるこれらの杉 の うち、最も巨大な杉は、地上8mの幹の途中から2つに分 か れて天に伸びており、夫婦円満と縁結びのご利益が信じ ら れている。			



2の 28	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡		
	名称	ちち き とり ま あおたま じんじや いちよう たいぼく 乳の木(鳥羽 青玉神社の銀杏の大木)		
解説	じゅれいせんねんでいど いちよう ふと えだ 樹齢千年程度になる銀杏の太い枝のいたるところに、大きな ちち ぶさ に へんけいえだ 乳房に似た変形枝ができています。乳の出があまりよくない ははおや ちち ぶさ なや まい こうか い母親や乳房にかかる悩みがある人は、お参りすると効果 があるといわれている。			

2の 29	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡
	名称	たんじ てんぐ あしあと 丹治・天狗の足跡
解説	たんじ てんぐ ひこう でんせつ しゅうらくひがしがわ 丹治には天狗が飛行したという伝説があり、集落東側の山 の中に天狗の足跡と呼ばれている大きな岩がある。この岩 の上面は凹凸になっていて、天狗の足跡を思わせる。また、 山伏が横行したという言い伝えもある。	


2の 30	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡
	名称	み だにちようだ こ ふんぐん 三谷丁田古墳群
解説	6世紀から7世紀ころの古墳。東南向きの山麓で4基以上の円墳がある。そのうちの一基の通路入口付近で、6世紀後半に属するとみられる須恵器の坏片が採集されている。	

2の 31	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡
	名称	み だに かんのんさま ほこら 三谷・観音様の祠
解説	いま ひやくすうじゅうねんまえ むかし ふんせい 今から、百数十年前の昔、文政10年(1827年)の正月、この集落の庄屋・宇高光信は夜中に不思議な夢を見て観音菩薩のお告げを受けた。お告げによると「光信よ、私をすみやかに東の山の高いところにねんごろに安置すべし。災厄逃散、五穀豊穰など不思議なご利益がある」と。光信は大変驚いて仰ぎ見れば、遠く大見坂の山上から天空に観世音菩薩三十三体が現れ、天上から降りてくる姿を見た。感激した光信は、観音様の祠を祀る大事業を考えた。当時、この集落は度重なる災害に見舞われて米の不作が続き、その上疫病の流行などで、人々は大変貧しい暮らしをしていた。光信が中心になって村人とともに寄附を集めにまわり、大事業を成し遂げた。その後、村は災害を受けることも少なく、無事に年月が流れたといわれている。	

2の 32	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡
	名称	はせがい ほうきよういん どう 箸荷・宝篋印塔
解説	せきとう ほうきよういん だら に きょう おさ どう た この石塔は、宝篋印陀羅尼經を納めた塔で、建てられた時期は、文和3年(1354年)南北朝後期といわれている。	


2の 33	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	かどむら こう きょ 門村構居	
解説	<p>かどむら しゅうらく にしがわさんろくぶ ぜんちよう およ ど るい きず 門村の集落の西側山麓部に全長300mに及ぶ土塁が築 かれていて、古くには字カマヘ坪の一带を囲むように形 どっていたと考えられている。天正2年(1574年)に落城し たと伝えられる杉原兵太夫安久の居館(住まいに使う邸 宅)跡ともいわれている。</p>		


2の 34	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	かどむら ちゅうせいふん ぼ 門村中世墳墓	
解説	<p>せい きこうはん のもので、やますそ ゆる しゃめん かいだん 13世紀後半のもので、山裾の緩やかな斜面を階段のよう に整地し、配置した4基の火葬墳墓群。いずれも浅い鉢状 に土を掘って埋納されており、うち2基は蔵骨器として、鍋・ 羽窯を用い、ほかの2基は須恵甕・古丹波の壺が蔵骨器と して使用されている。</p>		


2の 35	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	すぎはらひようだ ゆうやすひさ ひ 杉原兵太夫安久の碑	
解説	<p>すぎはらひようだ ゆうやすひさ むらまちじだい すぎはらだに むら しはい 杉原兵太夫安久は、室町時代に杉原谷の村を支配してい た土豪。しかし、天正2年(1574年)1月15日、別所重棟 が、箆荷大見坂より門村城を攻め落とし、安久は割腹した と伝えられている。この碑は、その霊を慰めるために建てら れた。</p>		

2の 36	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	おく とよ べ こ ふんぐん 奥豊部古墳群	
解説	<p>せい き せい きころ こふんぐん ひがしむき さんろくぶ き 6世紀から7世紀頃の古墳群。東向きの山麓部に14基～ 15基の横穴式石室墳がある。平成9年に1号墳の発掘調 査が行われ、全長12. 4m×10. 4mの古墳の周りを取り まく外護列石といわれる石列や、全長9. 4mの長い横穴式 石室が発見された。</p>		




2の 37	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	かばさかこう ざんあと 樺坂鉱山跡	
解説	<p>かばさかこうざん みょうけんさん ろく          樺坂鉱山は妙見山麓にたくさんある鉱山群の一つで、かばさか          のみに存在するカドミウム鉱である。鉱脈は1400mと非常          になが ともな こう どう ひじょう なが つた          に長く、これに伴い坑道も非常に長く、伝えられるところに          よると最下底は杉原川の水準にまで達しているらしい。冬          はあたたか なつ すず かぜ ふ あが          は暖かく、夏は涼しい風が吹き上がってきている。</p>		


2の 38	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	かんのんじ さくら 観音寺桜ロード	
解説	<p>しょうわ ねん ごろ こうざんせき なに どて はなみ          昭和34年(1959年)頃、鉱山石で何も無い土手に、花見が          できるようにとの思いから、ソメイヨシノ約100本が集落の          じゅうみん う えられた。いま み ごと さ おとず          住民の手で植えられた。今ではその見事な咲きぶりが、訪          れる人の心を和ませしてくれる。</p>		


2の 39	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	かんのんじ じぞう 観音寺・首なし地蔵	
解説	<p>へいせい ねん りんどう かいとう む はつくつちよ          平成9年(1997年)、ふるさと林道の開通に向けて発掘調          査があり、げんざい ばしょ すこ いしがき かこ ばしょ          現在の場所より少し上に石垣で囲まれた場所に          あった。はっけん ときから くび しゅつど ど き かんが          発見されたときから首がなく、出土した土器から考          え 江 戸 時 代 の 終 わ り 頃 ま で は 鉱 山 関 係 者 が お 参 り さ          れ て い た よ う で あ る 。</p>		







3の 1	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	やまより かみ 山寄上 さつまいもオーナー制度	
解説	むらづくり事業で、毎年8月末に芋掘りイベントを行う。品種「紅あずま」のさつまいもは大変おいしい。		


3の 2	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	やまよりかみ あき ひき やまじゅんこう 山寄上 秋まつり(曳山巡行)	
解説	<p>ご こと ほうじょう き がん かんしゃ きも おこな 五穀豊穰の祈願、感謝の気持ちをこめて秋に行われる。</p> <p>なんびやくねん つづ ひき やま かざ 何百年も続いているまつりであり、曳山の中の飾りがポイント。この中にはめでたい内容のものや、元気に子どもが育ってくれる願いから、鯉の滝登り、宝船、五穀豊穰、高砂、鶴亀などがある。まつり当日は、煮しめや漬け物とお神酒による神事のあと、曳山おどりを踊りながら村中を練り歩き、五穀豊穰を祈る。山寄上では、男子(跡継ぎ)ができなかった時、「氏神さん(青玉神社)にお願いしては。」ということで曳山をつくり、造り物をして献上したところ、それから男子が生まれるようになったという言い伝えがある。</p>		

3の 3	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	とりま ゆ た 鳥羽 湯立てまつり	
解説	とり ま あおたまじんじゃ だい しゅう おこな み こ ふ 鳥羽の青玉神社で、7月の第2週に行われる。巫女が振りまく湯にかかると、病気にかからず元気で過ごせるといわれている。		


3の 4	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	きよみず 清水 ホタルまつり	
解説	へいせい ねん ねん おこな 平成5年(1993年)頃から毎年6月下旬に行っている。ホタルを見ながらのウォークラリーなどが楽しめる。		

3の 5	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	きよみず おくやま し ぞう 清水 奥山地蔵のまつり	
解説	清水の <sup>にしがわ</sup> 西側、山の奥 <sup>おくふか</sup> 深いところにあり、いぼ <sup>やく し</sup> 薬師が <sup>まつ</sup> 祭られている。毎年、お盆 <sup>まいとし</sup> 過ぎに行 <sup>ぼん す</sup> われるまつり。 <sup>おこな</sup>		


3の 6	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	きよみず さん こ かい え ま 清水 三顧会の絵馬づくり	
解説	きよみずにしのみやじんじや <sup>ねんまつ</sup> ねん し かざ きよだい えま 清水西宮神社に年末年始に飾られる巨大絵馬。1995年 ごろ <sup>しょうぼうだんいん</sup> しょうぼうだんいん <sup>つく</sup> さん こ かい 頃から、消防団員のOBで作る「三顧会」のメンバーが作っ ている。		



3の 7	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	きよみず 清水 えびすまつり	
解説	1月の10日頃、 <sup>ごろ</sup> 1月の10日頃、 <sup>きよみずにしのみやじんじや</sup> 清水西宮神社で <sup>おこな</sup> 行われるまつり。		


3の 8	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	とどろき <sup>かわすそ</sup> 轟 川裾まつり	
解説	7月下旬頃、 <sup>げじゅんごろ</sup> 轟の川裾神社で開かれる。子ども達 <sup>たち</sup> が絵を <sup>えが</sup> 描いた灯籠 <sup>とうろう</sup> を川へと流す灯籠流しが行われ、 <sup>おこな</sup> 幻想的な景 色 <sup>いろ</sup> が広がる。お当番 <sup>とうばん</sup> さんによって宮参橋 <sup>みやさんばし</sup> に電気の提灯 <sup>でんき</sup> が <sup>かざ</sup> 飾られ、古代から座った祭壇 <sup>さいだん</sup> の大岩 <sup>おおいわ</sup> の上に御神体 <sup>ごしんたい</sup> を祀る。 「かわっさはん」と呼ばれ、川裾まつりにお参りすると、夏 <sup>なつ</sup> 負 け <sup>なつまけ</sup> しないと <sup>すいがい</sup> 水害 <sup>ふせ</sup> を防いでくれるとかいわれている。		

3の 9	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	とどろき <sup>こくぞうどう</sup> 轟 虚空蔵堂の数珠繰り	
解説	<sup>ねんぶつ</sup> 念仏を <sup>とな</sup> 唱えながら参加者が輪 <sup>さんかしや</sup> になって数珠 <sup>わ</sup> を100回繰 <sup>じゅず</sup> る。 <sup>とちゅう</sup> 途中50回で一休み。 <sup>だま</sup> お玉と呼ばれる団子 <sup>だんご</sup> を三角 <sup>さんかく</sup> に積み上 げたものを <sup>まつ</sup> 祀る。		


3の 10	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	にしやま なつ 西山 夏まつり	
解説	まいとし ぼんす ごろ どようび しゅうらく こうかいどう 毎年8月のお盆過ぎ(20日頃)の土曜日に、集落の公会堂 ひら ぼんおど で開かれる盆踊り。		

3の 11	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	いちはら こうこう 市原 孝行れんげまつり	
解説	まいとし こうかいどう おこな とし こうこう 毎年5月4日に公会堂で行われる。その年の孝行のメッ おうぼさくひん こうかいどうない てん じ セージの応募作品が公会堂内に展示される。		

3の 12	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	 
	名称	いちはら こうこう 市原 ちょっとてれくさい孝行のメッセージ	
解説	へいせい こうこう はっしん き ち もりやす せいたん 平成7年、『孝行』の発信基地として『森安こはる』生誕100 ねん とし こうえん せいび おこな 年の年に、『こはる公園の整備』と『孝行まつり』を行った。 こう じょ もりやす いつわ よくとし へいせい 孝女「森安こはる」さんの逸話にちなむ。翌年、平成8年か て こうこう ぜんこくこうぼ はじ ら「ちょっと照れくさい孝行のメッセージ」の全国公募を始め しゅ ふ ともしや ほん しゅつばん た。のちに、主婦の友社から本にして出版された。		

3の 13	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	いちはら あき りん ぼ たいこう むらしば い 市原 秋まつり 隣保対抗村芝居	
解説	りん ぼ たいこう むらしば い まいとしおこな くまのじんじゃ よいみや 隣保対抗の村芝居を毎年行う。熊野神社まつりの宵宮を も あ き かく しゅうらく かんばんぎょうじ 盛り上げようと企画されたもので、集落の看板行事の一 つ。		

3の 14	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	たん じ なつ 丹治 夏まつり	
解説	まいとし じょうじゅん しゅうらく こうかいどう ひら ぼんおど 毎年8月上旬に集落の公会堂で開かれる盆踊り。		

3の 15	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事		
	名称	たんじ もんじゅ 丹治 文珠まつり		
解説	まいとし 毎年1月20日頃(1月第3～4週頃)に開かれる。智恵の文 じゅどう 殊堂として、受験生が合格祈願のためお参りに訪れる。住 うしよく かご の どう おとず ほうよう おこな 職が籠に乗ってお堂を訪れ、法要が行われる。			


3の 16	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	おおぶくろ 大袋	えびす 戎まつり
解説	1月10日 <small>ごろ</small> 頃に大袋 <small>おおぶくろ</small> の戎神社 <small>えびすじんじや</small> で開かれるまつり <small>ひら</small> 。消防団員 <small>しょうぼうだんいん</small> が運営 <small>うんえい</small> している。		


3の 17	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事
	名称	おおぶくろ だいじんじゃ なつ 大袋 大神社の夏まつり
解説	おおぶくろ だいじんじゃ ひら なつ だいじんじゃ 大袋の大神社で開かれる夏まつり。大神社は”だいじゅん さん”という呼び名で地元の人に親しまれている。 よ な じもと ひと した	


3の 18	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	みだに しゅうかくさい 三谷 収穫祭	
解説	まいとし 毎年11月23日頃に行われる。以前は、自然薯栽培の有 し 志のグループが自然薯を栽培していた。元々は、干ヶ峰の ふもと と 麓で穫れる自然薯が近隣の名物として珍重されていた。		





3の 19	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事
	名称	み だにしゅうらく    ゆうこう きょうてい 三谷集落    友好協定
解説	<p>ひょうごけんか                      みだに                      ちめい                      か    しよ                      とうじ                      めいしゅう 兵庫県下には「三谷」の地名が6箇所ある。(当時の名称で</p> <p>① かすみちよう                      はまさかちよう                      ようかちよう                      やぶちよう ①香住町三谷②浜坂町三谷③八鹿町三谷④養父町三谷</p> <p>⑤ やまさきちよう                      かみちよう                      へいせい ⑤山崎町三谷⑥加美町三谷)。平成4年に、むらづくりの一</p> <p>かん                      とうじ                      やまさきちよう                      やぶちよう                      よく                      ようかちよ 環として当時の山崎町三谷と養父町三谷を、翌5年に八鹿</p> <p>う                      はまさかちよう                      しゅうらく    じ    ち                      い    けんこうかん 町三谷、浜坂町三谷を訪ね、集落自治について意見交換</p> <p>を行った。これをきっかけに、のうりんぎよう    こうえん                      かいえんしき 農林業公園の開園式に、これ</p> <p>らの代表者を招待、友好協定を結んだ。三谷の地名と農山</p> <p>そん                      きょうつうてん                      も                      かくしゅうらく                      かか                      か    だい                      に 村であるという共通点を持つ各集落は、抱える課題も似て</p> <p>むら                      よ                      こうりゅう                      ふか おり、村づくりの良きパートナーとして交流を深めている。</p>	


3の 20	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせがい しば い 箸荷 むら芝居	
解説	<p>せいねんだんいん やくしや おおとしじんじゃけいだい とく          秋まつりに青年団員が役者になって、大歳神社境内の特          せつ ぶ たい しば い えん しやうわ ねんだい はい せい          設舞台でむら芝居を演じていた。昭和50年代に入って青          ねんだんかつどう すいたい しば い と だ          年団活動が衰退し、これとともにむら芝居も途絶えてしま          う。へいせい ねん しょうぼうだん ふっかつ う つ          う。平成5年(1993年)、これを消防団が復活させ受け継い          でいる。</p>		

3の 21	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせがい しば い ほぞん かい 箸荷 むら芝居保存会	
解説	<p>ねん          平成14年(2002年)3月、消防団員によって復活させた箸          しろと しば い すえなが けいしやう          荷むら芝居(素人芝居)を末永く保存・継承していこうと『箸          けっせい          荷むら芝居保存会』が結成された。区長役員、老人クラブ、          婦人会、消防団OBなど各種団体が加わり、集落住民が          やくわり にな          皆、力を合わせそれぞれの役割を担って『むら芝居の里』          き ばん          を行っていこうと基盤づくりが始められた。</p>		


3の 22	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせがい 箒荷 むらづくり館	
解説	へいせい ねん しば い ぶ たい そな はせがい 平成14年(2002年)7月、芝居舞台を備えた『箒荷むらづく り館』が完成。舞台20畳、客席60畳の大きさを持ち300 人収容可能。同年10月、この館で『全国むら芝居サミット』 を開き、全国各地から15劇団、北は山形、南は九州・大分 まで総勢300人の観客が詰めかけた。		
			


3の 23	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事
	名称	はせがい ぜんこく しば い 箒荷 全国むら芝居サミット
解説	せ たいすう こ はせがいしゅうらく ぜんこく よ しろ 世帯数わずか58戸の箒荷集落から、全国に呼びかけ、素 うと げきだん いちどう あつ はせがい かいさい き 人劇団を一堂に集め箒荷でサミットを開催しよう！！と企 かく へいせい ねん きねん だい かいぜん 画。平成14年(2002年)10月13日、記念すべき第1回全 こく しばい せいだい かいさい どうじつ 国むら芝居サミットを盛大に開催。また、このサミット当日 ぜんこく はつ しばい た あ じ に、全国初の『むら芝居ネットワーク』も立ち上げ、その事 む きょく はせがい う も いご てい き てき ぜんこくかくち 務局を箒荷が受け持つことになり、以後、定期的に全国各 地でもら芝居サミットを開催している。	
		


3の 24	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事		
	名称	はせがい けいかん きょうてい 箒荷 景観むらづくり協定		
解説	へいせい ねん けいかん 平成12年(2000年)12月1日 むらづくりや景観づくりの め ざ ほうこうせい も はせがいけいかん きょ 目指すべき方向性などを盛りこんだ『箒荷景観むらづくり協 うてい ひょうごけん ていしゅつ ひょうごけん けいかんけいせいなど 定』を兵庫県に提出。このとき、『兵庫県景観形成等に関す じょうれい もと じゅうみんきょうてい けんか れい へいせい る条例』に基づく住民協定は県下に例がなく、平成13年 (2001年)2月、県知事から箒荷地区を第1号として認定書 きょうていていけつ しゅうらく を受けた。この協定締結をきっかけにして、集落をあげて、 みんなで景観むらづくりに取り組んでいる。			


3の 25	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせがい ももて 箸荷 百々手まつり	
解説	<p>まいとし けんこくきねん おおとしじんじゃ 毎年2月11日の建国記念の日に、大歳神社で、その年の ごこくほうじょう しよぎょうはんえい ねが ももて おこな 五穀豊穡や諸業繁栄などを願う百々手まつりが行われる。 たまぐしほうのう しんじ お ぐうじ とうにんたち て せい 玉串奉納、神事が終わると、宮司や当人達12人が手製の ゆみ や やく はな まと い まと ま なか おに か 弓と矢で約15m離れた的を射る。的の真ん中には鬼と書 かれ、その上をすみぬ しほう あくま ゆみや お ばら や いえ かざ ふく さず けいだい 払う。矢を家に飾っておけば福が授かるとあって、境内に あつ むらびとたち きそ と あ のち けいだい もち 集まった村人達は競って取り合う。この後、境内で餅まき が行われ一層盛り上がる。</p>		


3の 26	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせがい かわすそ 箸荷 川裾まつり	
解説	<p>かわすそじんじゃ よ 川裾神社は『かわっさはん』と呼ばれ、昔どこからか、この 神様が流れてきて、ここで水害が止まったと言われる。そこ で、小さな祠を立てて、水で身を洗い清めてお祀りをした。 川裾まつりにお参りすると、夏負けしないとか、すいがい 水害を防いでくれるとか言われている。</p>		

3の 27	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせがい あたご じんじゃ ひ 箸荷 愛宕神社 火まつり	
解説	<p>別名、愛宕まつり。愛宕まつりとは、火のかみ 火のさいなん よ けの神として名高い京都・愛宕神社の信仰に基づくもの で、数多くの松明にかみ なぐさ かさい まぬが 火をつけて神を慰め、火災から免れよ うとするまつり。まいとし だい にちようび おこな 毎年、8月第4日曜日に行われる。</p>		


3の 28	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	かどむら やく じん 門村 厄神さん	
解説	かどむら やく じんさい かどむら いつくしまじんじゃ まつ はちまん 門村厄神祭。門村巖島神社に祀られている八幡さんのおまつり。毎年、1月の第2～3週あたりに行われている。厄年の人を中心に参拝者が訪れる。		

3の 29	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	かどむら 門村 れんげまつり	
解説	まいとし おこな りん ぼ たい こう はこ めい 毎年5月3日に行われる。隣保対抗のマメ運びりレーは名物行事。各種のマメを塗り箸で運び順位を競う。		


3の 30	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	かどむら 門村 とんど	
解説	かくかてい かざ しょうがつかざ も のこ 各家庭で飾ったお正月飾りなどを燃やして、残りの火でお餅を焼いて食べる。当日は、消防団・子ども会・婦人会など各種団体からの炊き出しがあり、集落住民が集まる。集落をあげてのむらづくり事業の一つとして行われている。		

3の 31	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	でん どうぶん か けいしょう じ ぎょう かぐら ふっかつ かどむら 伝統文化継承事業 『神楽の復活』(門村)	
解説	かどむら う つ かぐら やく まえ いちどふっかつ 門村で受け継がれてきた神楽は、約20年前に一度復活させたが、後継者不足等で休止したままとなっていた。平成18年度に再度復活させ、神楽(荒神祓い)を、集落内全戸で舞うようになった。		


3の 32	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事
	名称	すぎはら むら い いんかい 杉原 村おこし委員会
解説	へいせい ねん しんけん ち いき かんが 平成5年(1993年)、真剣にこれからの地域づくりを考えよう と、かくしゅだんたい ちょう ちゅうしん じゅうすうにん いいん そ しき 各種団体の長を中心に十数人の委員から組織された。 さいしょ すいしん わ き 最初のむらづくり推進スローガンを『和』と決め、みんなが いっしょ あせ わ すず しゅうらく びか 一緒になって汗をかき人の和づくりを進めようと、集落の美 かつどう まつ つう すず 化活動・祭りを通じて進めている。	

3の 33	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	おく とよ べ えいたいきょう く よう 奥豊部 永代経 供養	
解説	まいとし じょうしょうじ おこな もち くし 毎年3月と8月に浄照寺で行われている。小さな餅を串に		
	さ かざ つ もちばな さいだん そな 刺し、飾り付けられた餅花が祭壇に供えられる。		


3の 34	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事
	名称	かんのん じ 観音寺 さくらまつり
解説	4月初めに行われる集落交流行事。仮装カラオケ大会など 観音寺の人たちのほか、木の家プロジェクトとして観音寺と 交流している神戸大学の学生が参加している。	


3の 35	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	やまよりかみ しも じま こう えん 山寄上 下島さくら公園	
解説	や え ざくら やまよりかみ い ぐち こうえん 八重桜のきれいなところ。山寄上の入り口にある公園。		


3の 36	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	たん じ 丹治	さくらこう えん 桜公園
解説	ちく ろうじんかいいいん 地区老人会員によりソメイヨシノ(桜)が1000本植えられ ている。		







3の 37	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	おおぶくろ し き もり こうえん 大袋 四季の森公園	
解説	<p>おおぶくろ きた はし すぎはらがわ めん ぼしよ 大袋の北の端、杉原川に面した場所があり、クヌギやケヤ          キなどが植わった林に遊歩道や東屋が整備されている。          なつ あき と はやし ゆうほう どう あずまや せいび          夏や秋にはカブトムシ取りやドングリ拾いに行く子どもの姿          がみ が見られる。</p>		


3の 38	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	いちはら こうえん 市原 こはる公園	
解説	<p>へいせい ねん こうこう はつ しん き ち もりやす 平成7年(1995年)「孝行」の発信基地として「森安こはる」          せいたん とし こうえん せい び          生誕100年の年に「こはる公園」の整備をした。</p>		


3の 39	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	いちはら こうこう 市原 孝行ロード	
解説	<p>へいせい ねん ひのもとのうどう こうこう はば なが 平成12年(2000年)、桧ノ本農道『孝行ロード』(幅4m, 長          さ550m)を整備し、孝行メッセージの碑10基が建てられ          ている。</p>		



3の 40	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	かんのん じ そうごう うんどう こう えん さと 観音寺 総合運動公園～ホテルの里	
解説	<p>そうごう うんどう こうえん さと しよじゆん げ じゆん 総合運動公園～ホテルの里～ 6月初旬から7月下旬にか          けて、初夏の風物詩、美しい情緒あふれるホテルの温かな          らん ぶ み ふうぶつ し うつく じょうちよ あたた          乱舞が見られる。秋まつりには、公園では、集落住民でミ          ニ運動会が行われる。また、ふだんの日には老人会が          ゲートボール、子ども達はサッカーなどをして楽しく遊んで          いる。</p>		


3の 41	ジャンル	杉原谷のくらし・公共施設等	
	名称	みち えき 道の駅R427かみ	
解説	きた はじ みち えき ちい き とくさんひん はんばい 北はりまで初めての道の駅。地域の特産品の販売、および ばんしゅうひやくにち つか しよくじ あじ 播州百日どりをふんだんに使った食事が味わえるレストラ ンがある。毎週、木・日曜日の朝に開かれる「かみの朝市」 こうひょう も好評である。		


3の 42	ジャンル	杉原谷のくらし・公共施設等	
	名称	すぎはらがみ けんきゅうしょ 杉原紙研究所	
解説	すぎはらかみけんきゅうじょ		


3の 43	ジャンル	杉原谷のくらし・公共施設等	
	名称	ラベンダー パーク <sup>たか</sup> 多可	
解説	<p>とどろき ひがしがわ お お い ど や ま ふもと じ も と ひ と び と 轟の東側、大井戸山の麓にあり、地元の人々がひとつひとつ <sup>たいせつ</sup>大切に<sup>そだ</sup>育てた<sup>ひんしゅ</sup>ラベンダー4品種、約30000<sup>かぶ</sup>株<sup>う</sup>が植えら れている。ラベンダーを活用したクラフトや草木<sup>かつよう</sup>染め<sup>くさき</sup>など<sup>ぞ</sup>体<sup>たい</sup> <sup>けん</sup>験<sup>か</sup>ができる<sup>こう</sup>加工<sup>たいけんかん</sup>体験館がある。</p>		


3の 44	ジャンル	杉原谷のくらし・公共施設等	
	名称	しゅんらんそう 春蘭荘	
解説	たんじ こうえん うえ ろう じん ふく し しんけいつう 丹治さくら公園の上にある老人福祉センター。神経痛、リウ マチなどに効果があるラドン系の温泉がある。		


3の 45	ジャンル	杉原谷のくらし・公共施設等	
	名称	ジェラテリア ふれっしゅあぐり館 <sup>かん</sup>	
解説	<p>たかちょうない ゆた し ぜん はぐく ほう ふ のうちくさんぶつ  多可町内の豊かな自然に育まれた豊富な農畜産物、ハー  モニープークで収穫<sup>しゅうかく</sup>された四季折々の果物<sup>くだもの</sup>を使った<sup>つか</sup>手作り<sup>てづく</sup>  アイスクリームが食べられる。</p>		


3の 46	ジャンル	杉原谷のくらし・公共施設等	
	名称	ハーモニープーク	
解説	<p>せんがみね か じゅ えん しゅくはく し せつ もっこうきょうしつ  千ヶ峰のふもとに果樹園、レストラン、宿泊施設、木工教室  などいろいろな設備<sup>せつ び</sup>を備えている。果樹園では、リンゴ・な  し・さくらんぼ・栗<sup>くり</sup>などを栽培<sup>さいばい</sup>している。</p>		


3の 47	ジャンル	杉原谷のくらし・公共施設等	
	名称	かみ <sup>そうごう ふくし</sup> 総合福祉 センター	
解説	<p>すぎはらだにしょうがっこう にしがわ としよ  杉原谷小学校の西側にあり、お年寄りのデイサービスなど  地域住民<sup>ち いきじゅうみん</sup>の福祉向上<sup>ふくしこうじょう</sup>のために作<sup>つく</sup>られた施設<sup>し せつ</sup>。</p>		


4の1	ジャンル	集落名の由来	
	名称	山寄上 <small>やまよりかみ</small>	
解説	<p><small>みくにだけ</small> 三国岳のふもと、<small>すぎはらがわ</small> 杉原川の最も上流にある村。<small>むら</small> 山に近接した川上の地であることから、<small>やまよりかみ</small> 山寄上という名になった。</p>		


4の2	ジャンル	集落名の由来	
	名称	鳥羽 <small>とり ま</small>	
解説	<p><small>あおたまじんじや</small> 青玉神社の祭場が「とりば」となり、<small>と</small> 鳥羽の文字が当てられて「とりま」と呼ばれるようになった。</p>		


4の3	ジャンル	集落名の由来	
	名称	清水 <small>きよみず</small>	
解説	<p><small>すぎはらがわ</small> 杉原川の流<small>なが</small>れが清<small>きよ</small>らかであることから、<small>きよみず</small> 清水と呼ばれるようになった。</p>		


4の4	ジャンル	集落名の由来	
	名称	轟 <small>とどろき</small>	
解説	<p><small>まだにやま</small> 真谷山の深谷に滝があり、<small>ごう う</small> 豪雨になると滝音がとどろくことから『轟』と言われるようになった。</p>		


4の5	ジャンル	集落名の由来	
	名称	山口 <small>やまぐち</small>	
解説	<p><small>おお い ど やま</small> 大井戸山の登山口であることから『山口』と言われている。</p>		

4の6	ジャンル	集落名の由来	
	名称	西山 <small>にしやま</small>	
解説	<p><small>すぎはら がわ う がん にしがわ</small> 杉原川右岸(西側)の山裾に人家が集まっていたことに由来する。「にしやま」とも呼ばれている。</p>		


4の7	ジャンル	集落名の由来	
	名称	いちはら 市原	
解説	<p>この土地は、<sup>とち</sup>丹治坂、<sup>たんじざか</sup>市原坂の坂道と、<sup>なんぼく</sup>南北に<sup>すぎはらだに</sup>杉原谷を縦貫する<sup>いちはら</sup>杉原街道の交差点に位置し、中世末期には『市原千軒』とうたわれた<sup>こうぎょうち</sup>鉱業地で、<sup>はりま</sup>播磨、<sup>たんば</sup>丹波、<sup>たじま</sup>但馬の商人が各地の特産品を持ち寄り『市』が立ったことから、『市場』といわれ、後に『市原』と呼ばれるようになったと言われている。</p>		


4の8	ジャンル	集落名の由来	
	名称	たんじ 丹治	
解説	<p><sup>ささ</sup>篠ヶ峰<sup>とうろく</sup>東麓・<sup>ひ</sup>氷上町<sup>かみちやうみ</sup>三原にある<sup>うち</sup>内尾神社の祭神を、古来<sup>たんじだいみやうじん</sup>丹治大明神と呼ぶが、これは<sup>いずみのくに</sup>和泉国の<sup>こうぶつし</sup>鉱物師であった<sup>たん</sup>丹治氏がこの土地に往来したことによるものと言われている。</p>		


4の9	ジャンル	集落名の由来	
	名称	おおぶくろ 大袋	
解説	<p><sup>みだに</sup>三谷からこの土地の<sup>ひやうこうさ</sup>標高差200mの丘陵を見た<sup>きゆうりやう</sup>眺めが<sup>み</sup>袋を背負っているようであったことから、はじめは「<sup>お</sup>負<sup>ぶくろ</sup>い袋」と呼ばれていたが、のちに「大袋」の字が当てられたと言われている。「おいぶくろ」ともいう。</p>		


4の10	ジャンル	集落名の由来	
	名称	みだに 三谷	
解説	<p><sup>しゆう</sup>雌雄の滝をもつ<sup>みだにけいこく</sup>三谷溪谷が、<sup>ふか</sup>深く<sup>せんがみね</sup>千ヶ峰に迫り、<sup>せま</sup>真北には<sup>まきた</sup>杉・<sup>すぎ</sup>檜に覆われた<sup>おおたに</sup>大谷があり「<sup>みだに</sup>三谷の<sup>みだに</sup>三谷に<sup>みちまよ</sup>道迷い」との古謡があった。</p>		




4の11	ジャンル	集落名の由来	
	名称	はせがい 箸荷	
解説	けいちようけんちちよう すぎはら だに は せ かいむら しる 慶長検地帳では「杉原谷長谷貝村」と記されている。「風土 き 記」に、あか し ぐん おおみのさと おうみのおみ し そん は せ がべし おう 来し、これが「はせがい」になまったと言われている。		

4の12	ジャンル	集落名の由来	
	名称	かどむら 門村	
解説	じよう ご じ もん ぜん 浄居寺の門前にあることから『門村』と言われている。		

4の13	ジャンル	集落名の由来	
	名称	すぎはら 杉原	
解説	ふる すぎはらがみ とく さん ち ゆう めい しやうえんねん ぐ かみ 古くから、杉原紙の特産地として有名で、莊園年貢も紙が ちゆうしん い 中心だったと言われている。		

4の14	ジャンル	集落名の由来	
	名称	おく とよ べ 奥豊部	
解説	はっきりしたことはふ めい だが、このちいき いったい た はた ゆた であつたことからゆらい 由来しているという説がある。		

4の15	ジャンル	集落名の由来	
	名称	かんのん じ 観音寺	
解説	はい ご やま ちゆうふく ほうどう せん にん ひら つた しんごん 背後の山の中腹に、法道仙人が開いたと伝えられる真言 しゆうにつ とうさんかんのん じ 宗日東山観音寺があるため、このように呼ばれている。		



5の1	ジャンル	方言・あ
	名称	あずって
解説	くろう 苦勞して 【用例】むかしは、あずってあずって炭 <sup>すみ</sup> つくつとつたなあ。	

5の2	ジャンル	方言・あ
	名称	あだける
解説	お <small>み</small> 落ちる【用例】よそ見 <small>いしがき</small> しよつたら、石垣からあだけてもた。 (よそ見 <small>み</small> をしていたら、石垣から <small>いしがき</small> <small>お</small> 落ちてしまった。)	

5の3	ジャンル	方言・あ	
	名称	あたしっとい	
解説	しんどい 【用例】あたしっといこと、せんとき。		

5の4	ジャンル	方言・あ
	名称	あてこすり
解説	<small>ひにく</small> 皮肉 【用例】それは、わたしへのあてこすりか？	

5の5	ジャンル	方言・あ
	名称	あとんじより
解説	あと <small>に</small> 後ずさり 【用例】あとんじよりして逃げる。(後 <small>あ</small> ずさりして逃 <small>に</small> げる)	

5の6	ジャンル	方言・あ
	名称	あらへん
解説	ない【用例】 <small>さんすう</small> 算数の教科書 <small>きょう か しよ</small> があらへんけど、しらんか？	

5の7	ジャンル	方言・あ
	名称	あんじょう
解説	ぐあい・しゅび 具合よく・首尾よく【用例】ちよつと留守にするけど、あんじょうきばってやあ。	

5の8	ジャンル	方言・い
	名称	いかへんだ
解説	い 行きませんでした【用例】「きのう、 <sup>かいぎ</sup> 会議にいったか？」「用 <sup>よう</sup> <sup>じ</sup> 事があって、いかへんだ」	

5の9	ジャンル	方言・い
	名称	いがむ
解説	ゆが <sup>が</sup> 歪む 【用例】線 <sup>せん</sup> を引きよ <sup>ひ</sup> ったら、いがんでもた。	

5の10	ジャンル	方言・い
	名称	いかめい
解説	うらやましい 【用例】まあ、あの人 <sup>ひと</sup> のとこ、ひとつも稲 <sup>いね</sup> がこ けんと、いかめいわあ。	

5の11	ジャンル	方言・い
	名称	いきやたり
解説	つ <sup>あ</sup> 突きあたり 【用例】郵便局 <sup>ゆうびんきょく</sup> の角 <sup>かど</sup> 、左 <sup>ひだり</sup> へまわってもろたら、いきやたりが 〇〇はんのおうちです。	

5の12	ジャンル	方言・い	
	名称	いっけ	
解説	しんせき 親戚 【用例】うちとあんたとは、いっけやな。		

5の13	ジャンル	方言・い	
	名称	いっさんこ	
解説	かわよしのぼり 【用例】		

5の14	ジャンル	方言・い
	名称	いぬ
解説	<sup>かえ</sup> 帰る、 <sup>さ</sup> 去る【用例】ほな、もう <sup>おそ</sup> 遅うなったし、そろそろいぬわ。(では、もう <sup>おそ</sup> 遅くなったことだし、そろそろ <sup>かえ</sup> 帰ります。)	

5の15	ジャンル	方言・い
	名称	いのく
解説	うご動く【用例】♪いのきはじめてた <sup>きしゃ</sup> 汽車に、一人 <sup>ひとり</sup> 跳 <sup>と</sup> び乗 <sup>の</sup> った～ (ちあきなおみ)	

5の16	ジャンル	方言・い
	名称	いまさつき
解説	つい <sup>さき</sup> 先ほど。「いん <sup>い</sup> まさつき」とも言う。【用例】いまさつき、 <sup>でんわ</sup> 電話かかってきたで。	

5の17	ジャンル	方言・い
	名称	いんがり
解説	<small>ていねい</small> 丁寧【用例】まあ、いんがりしたもん、こしらえとってやないかいね。	

5の18	ジャンル	方言・い
	名称	いんま
解説	<sup>いま</sup> 今【用例】いんまさつき、お客 <sup>きやく</sup> さんがかえっちゃったところだっせ。	

5の19	ジャンル	方言・え
	名称	えげつない
解説	ひきょう・なっどく 卑怯・納得いかない【用例】あいつら、えげつないことすんなあ。	



5の20	ジャンル	方言・お
	名称	おいやか
解説	おだやか。のんびり。ゆっくり 【用例】まあこの <sup>へん</sup> 辺は、おいやかなとこやなあ。あいつは、おいやかなやっちゃなあ。	

5の21	ジャンル	方言・お
	名称	おうじょうする
解説	こま 困る 【用例】くるま みぞ 車が溝にはまって、おうじょうしましたがいいな。	

5の22	ジャンル	方言・お
	名称	おうねん
解説	おとな大人びた 【用例】このこ子、おうねんなかお顔しとってやなあ。	

5の23	ジャンル	方言・お
	名称	おしまいな
解説	ゆうがた 夕方 <sup>た</sup> のあいさつ 【用例】もう、暗 <sup>くら</sup> くなってきたから、はよ、おしまいな。	

5の24	ジャンル	方言・お	
	名称	おせへん	
解説	おし 教えない【用例】		

5の25	ジャンル	方言・お
	名称	おっちんする
解説	せいざ 正座する 【用例】そのふとんの上へ、おっちんしてみ。	

5の26	ジャンル	方言・お	
	名称	おってですか	
解説	おられますか 【用例】こんにちは。〇〇さん、おってですか？		

5の27	ジャンル	方言・お	
	名称	おてしょう	
解説	こ <small>ざら</small> 皿、と <small>ざら</small> 取り皿 【用例】ちょっと、そこのおてしょうと <small>と</small> 取って。		

5の28	ジャンル	方言・お	
	名称	おまはん	
解説	あなた 【用例】おまはんは、どない <sup>おも</sup> 思てや？		

5の29	ジャンル	方言・お
	名称	おらへん
解説	いません 【用例】仕事 <small>しごと</small> に行 <small>い</small> って、誰 <small>だれ</small> もおらへん。	

5の30	ジャンル	方言・か
	名称	かえら(かえだ)
解説	カメムシ 【用例】今年 <sup>ことし</sup> は、かえら <sup>おお</sup> が多 <sup>おほ</sup> そうやなあ。(今年 <sup>ことし</sup> はカメムシ <sup>おお</sup> が多 <sup>おほ</sup> くなりそうですね。)	

5の31	ジャンル	方言・か
	名称	かく
解説	も持つ、かつぐ、運 <sup>はこ</sup> ぶ【用例】ちょっと、かいてくれ <sup>はこ</sup> っか？ ええ！？ どこ <sup>せなか</sup> かくの、背中？ ちがうちがう、この机 <sup>つくえ</sup> を運 <sup>はこ</sup> ぶの。	

5の32	ジャンル	方言・か
	名称	かだ
解説	かお 香り、におい 【用例】なんや、このかだは？	

5の33	ジャンル	方言・か
	名称	かたくま
解説	<small>かたぐるま</small> 肩車【用例】 <small>けいこうとう</small> 蛍光灯を取り替えるから、ちょっと <small>と</small> かたく <small>か</small> ましてくれるか。	

5の34	ジャンル	方言・か
	名称	かだら
解説	<div>からだ</div> 体【用例】かだらじゅう、かいいてしゃあない。(体中がか <div>からだじゅう</div> <div>しかた</div> ゆくて仕方がない。)	

5の35	ジャンル	方言・か	
	名称	かつける	
解説	ぶつける。 <sup>あ</sup> 当てる。【用例】こら、おまえ、ええ <sup>か げん</sup> 加減にせんと、石 <sup>いし</sup> かつけど。(ちよっと、あなた、いい <sup>か げん</sup> 加減になさいま せんと、石 <sup>いし</sup> <sup>あ</sup> を当てますよ。)		

5の36	ジャンル	方言・が
	名称	～がん
解説	…の分量 <small>ぶんりょう</small> 【用例】おばちゃん、この飴 <small>あめ</small> 100円 <small>えん</small> がんおくれ。	

5の37	ジャンル	方言・が
	名称	がいよー
解説	くわ詳しく、わ分かりやすく。ぐ あい具合よく【用例】そのしりょう資料のがいよう概要ですが、もうちょっとがいようおし教えてもらえませんか？	

5の38	ジャンル	方言・が
	名称	かど、かだ
解説	いえ まえにわ げんかんまえ 家の前庭・玄関前 【用例】ええかげんに、かどの <small>くさ と</small> 草取りせ なあかんわ。	

5の39	ジャンル	方言・き	
	名称	きしょくわるう	
解説	き　み 気味がわるい 【用例】ああ～ <sup>きしょく</sup> 気色わるう・・		

5の40	ジャンル	方言・き
	名称	きばる
解説	がんばる【用例】明日から田 <sup>あした</sup> 植 <sup>た</sup> え <sup>う</sup> が <sup>はじ</sup> 始まるし、きばらんなあ・・	

5の41	ジャンル	方言・き
	名称	きやーるい
解説	き ぶん わる 気分が悪い、むかつく【用例】「あた、きやーるい」チョー、ムカツク	

5の42	ジャンル	方言・き
	名称	ぎょーさん
解説	たくさん 【用例】もみじの葉 <sup>は</sup> っぱが、ぎょーさん落 <sup>お</sup> ちとるなあ。	

5の43	ジャンル	方言・き
	名称	きょーび
解説	げんざい　ちか 現在、近ごろ【用例】きょうーび、そんな古いラジオ、見たことないでー。 ふる　み	

5の44	ジャンル	方言・き
	名称	きんと一な人
解説	きちょうめん <sup>ひと</sup> 几帳面な人。かつちりしている人 <sup>ひと</sup> 【用例】あの人 <sup>ひと</sup> は、ほんまにきんと一な人 <sup>ひと</sup> やなあ。	

5の45	ジャンル	方言・き	
	名称	きんの一	
解説	きのう 昨日 【用例】きんの一のばんの晩、ラーメン食べたでえ。		

5の46	ジャンル	方言・く
	名称	くすべ
解説	ほのお　た　けむ　も　ひと 炎を立てず煙らせながら燃やすこと。【用例】あの人、いつも いまじぶん つも今時分になったら、くすべしよってやなあ～	

5の47	ジャンル	方言・く
	名称	くつな(くちな)
解説	へび蛇のこと 【用例】まあ一、ツバメの巣にくつながおったがいな。	

5の48	ジャンル	方言・く
	名称	くべる
解説	ひ　い　も　かみ 火に入れて燃やすこと。【用例】ちょっと、この紙もいっしょにくべとこか。	

5の49	ジャンル	方言・く
	名称	くんなはれ
解説	ください 【用例】つまらないものだけど、食 <sup>た</sup> べとくんなはれ。	



5の50	ジャンル	方言・け
	名称	けったい
解説	へん <sup>か</sup> 変な。変 <sup>きみょう</sup> わった。おか <sup>ひと</sup> しな。奇妙な【用例】け <sup>ひと</sup> ったいな人や なあ～	

5の51	ジャンル	方言・こ
	名称	～こ
解説	～ですか？【用例】「おい、何 <sup>なん</sup> ぞ酒 <sup>さけ</sup> のさかな無 <sup>な</sup> いんこ？」 「そんなもん、あるかいな。指 <sup>ゆび</sup> でもねぶつとき」	

5の52	ジャンル	方言・こ	
	名称	～こったす	
解説	ことです 【用例】		

5の53	ジャンル	方言・こ
	名称	こける
解説	ころぶ 【用例】ろうか <sup>はし</sup> を走っていたら、こけたわ。	

5の54	ジャンル	方言・こ
	名称	ここっちよい
解説	きもちが いい 【用例】	

5の55	ジャンル	方言・こ
	名称	こそばい
解説	かゆい・くすぐったい 【用例】 <sup>まご</sup> て孫の手ありませんか？ <sup>せなか</sup> 背中がこそばいです。	

5の56	ジャンル	方言・こ	
	名称	こつきり	
解説	すつきり・ <sup>ぜんぶ</sup> 全部【用例】ゴミを <sup>も</sup> 燃やしたら、こつきり <sup>も</sup> 燃えてしもたわ。		

5の57	ジャンル	方言・こ	
	名称	こってり	
解説	こじんまり。【用例】		

5の58	ジャンル	方言・こ	
	名称	こないだ	
解説	この間 <sup>あいだ</sup> 【用例】こないだ、大阪 <sup>おおさか</sup> へ行 <sup>い</sup> ってきたで。		

5の59	ジャンル	方言・こ
	名称	こぼる
解説	耐える・がんばる・辛抱 <sup>しんぼう</sup> する【用例】泣きな <sup>な</sup> っ、こぼりんかいな。これくらいの傷 <sup>きず</sup> で。死 <sup>し</sup> にやせんわ！（泣かないで、辛抱 <sup>しんぼう</sup> しなさい。これくらいの傷 <sup>きず</sup> では死 <sup>し</sup> ぬことはありません。）	

5の60	ジャンル	方言・こ	
	名称	こらえてな	
解説	ゆる許してね 【用例】もう悪いことしやへんから、こらえてえな。		

5の61	ジャンル	方言・こ
	名称	こんだ
解説	こんど 今度 【用例】こんだ、 <small>おおさか</small> 大阪へ <sup>あそ</sup> 遊びに <sup>い</sup> 行こか。	

5の62	ジャンル	方言・さ
	名称	さけに
解説	だから【用例】今、電話かけよるさけに、ちょっと待ってね。	

5の63	ジャンル	方言・さ
	名称	さら
解説	しんぴん 新品 【用例】この筆箱、さらやで。 ふでばこ	

5の64	ジャンル	方言・さ
	名称	さんこ
解説	らんざつ 乱雑 <small>ようす</small> になっている様子・行儀 <small>ぎようぎ</small> が悪いこと【用例】まあ、部屋 <small>わる</small> の中、さんこになっとるなあ。ちよつと、片づけたら。 <small>かた</small>	

5の65	ジャンル	方言・さ	
	名称	さんばらばん(さんぱらばん)	
解説	ちらかっているようす、むちゃくちゃ 【用例】部屋の中、こないに、さんばらばんにしてからに……。しゃあないやつचनाあ。 <div>へや なか</div>		

5の66	ジャンル	方言・し
	名称	～しとむない(しともない)(しとみない)
解説	～するのがおっくうだ、面倒 <small>めんどう</small> くさい、～したくない。【用例】 算数 <small>さんすう</small> の宿題 <small>しゅくだい</small> 、しとむないなあ。	

5の67	ジャンル	方言・し
	名称	したら
解説	そうしたら 【用例】	

5の68	ジャンル	方言・し	
	名称	しとってや	
解説	しておられた【用例】先生 <small>せんせい</small> が掃除 <small>そうじ</small> しとってやで。		

5の69	ジャンル	方言・し
	名称	しなはった
解説	しておられた【用例】	

5の70	ジャンル	方言・し	
	名称	しまいごと	
解説	ゆうしょく 夕食のしたく 【用例】さあ、ぼちぼち、しまいごとでしょうか。		

5の71	ジャンル	方言・し
	名称	しゃあない
解説	し <sup>しかた</sup> がない【用例】雨 <sup>あめ</sup> が降 <sup>ふ</sup> って田圃 <sup>たんぼ</sup> がでけへん。しゃあないさかい、テレビでも見 <sup>み</sup> よ。	

5の72	ジャンル	方言・し
	名称	しゃらへん
解説	し <small>かた</small> 仕方がない【用例】まだお昼 <small>ひる</small> になってないのに、腹 <small>はら</small> が減 <small>へ</small> ってしゃらへんわ。	

5の73	ジャンル	方言・し
	名称	しゅむ
解説	しみる【用例】	

5の74	ジャンル	方言・し
	名称	じょーさん
解説	たくさん【用例】こんぴらはんに行ったら、 <sup>よみせ</sup> 夜店がじょーさん <sup>で</sup> 出とった。	

5の75	ジャンル	方言・し
	名称	じょん
解説	たくさん 【用例】「うー、さぶ。じょんでるなあ。」	

5の76	ジャンル	方言・じ
	名称	じっきに
解説	すぐに。「じきに」とも言う。【用例】そのけがやったら、じっ きにお医者さん行かな。	

5の77	ジャンル	方言・じ
	名称	じゅるい
解説	ぬかるんでいる・やわらかい 【用例】昨日雨 <sup>きのう あめ</sup> やったで、グラ ンドがじゅるいなあ。	

5の78	ジャンル	方言・せ
	名称	せーへなんだ
解説	しなかった 【用例】昨日は、宿題 <sup>きのう</sup> せーへなんだら、先生 <sup>しゅくだい</sup> に <sup>せんせい</sup> おこられた。	

5の79	ジャンル	方言・せ	
	名称	せける	
解説	いそ 急ぐ 【用例】そんなにせけて、どこ、行 <sup>い</sup> っきよってん？		

5の80	ジャンル	方言・せ	
	名称	せやけど	
解説	だけれど 【用例】		

5の81	ジャンル	方言・せ	
	名称	せやさけに	
解説	だから 【用例】		



5の82	ジャンル	方言・せ
	名称	せんぐり
解説	つぎ次からつぎ次へと。たびたび 【用例】せんぐり草刈りしよるけど、一周してきたら、また生えとる。	

5の83	ジャンル	方言・せ	
	名称	せんどぶり	
解説	ひさ 久しぶり 【用例】まあ、あんた、せんどぶりやなあ。		

5の84	ジャンル	方言・そ
	名称	そーえ
解説	そうですか 【用例】	

5の85	ジャンル	方言・そ
	名称	そしたら
解説	そうしたら 【用例】	

5の86	ジャンル	方言・そ
	名称	それよか
解説	それよりも【用例】	

5の87	ジャンル	方言・そ
	名称	そろっと
解説	しんちょう 慎重に。ゆっくりと【用例】子どもを <sup>こ</sup> 起こさないように、そろっと寝間 <sup>ねま</sup> に入る。	

5の88	ジャンル	方言・だ	
	名称	だんない	
解説	かま構わない【用例】これ、一つもらっていい？ だんないで。		

5の89	ジャンル	方言・ち	
	名称	ちーとのま	
解説	すこ　ま　いま　いそが　でん　わ 少しの間【用例】今、忙しいから、ちーとのましてから電話 するわ。		

5の90	ジャンル	方言・ち	
	名称	ちゃった	
解説	なさった <small>そんけいご</small> 【用例】あつ、先生 <small>せんせい</small> が来 <small>き</small> ちゃったでえ。		

5の91	ジャンル	方言・つ
	名称	つくなむ(つくねむ)
解説	しゃがむ・すわる 【用例】そこに、ちょっとつくなんでみ。	

5の92	ジャンル	方言・つ
	名称	つんだかつんだか
解説	いっぱいたまっている <sup>ようす</sup> 様子【用例】こないにつんだかつんだかにしとったら、あかんやんか！	

5の93	ジャンル	方言・て	
	名称	てのこぼ	
解説	ぼたもち 【用例】		

5の94	ジャンル	方言・て	
	名称	てれこ	
解説	い <sup>ちが</sup> 入れ違い【用例】げ <sup>ばこ</sup> た箱のくつが、てれこになっとったわ。		

5の95	ジャンル	方言・で	
	名称	できらいでか	
解説	できますとも 【用例】それくらいのこと、できらいでか。		

5の96	ジャンル	方言・ど
	名称	てばる
解説	てまどる【用例】	

5の97	ジャンル	方言・ど
	名称	どーどこと
解説	どうにかこうにか。 <sup>なん</sup> 何とかぎりぎりで【用例】どーどこと、 <sup>ま</sup> 間におおたあ～	

5の98	ジャンル	方言・ど
	名称	どんくさい
解説	ようりょう <sup>ようりょう</sup> わる <sup>わる</sup> 要領が悪い。ちよつと間 <sup>ま</sup> 抜けな【用例】せんせい <sup>せんせい</sup> み <sup>み</sup> 先生に見つかったんか、どんくさいやつ <sup>やつ</sup> 奴やなあ。	

5の99	ジャンル	方言・な	
	名称	なあたん(ながたん)	
解説	ほうちよう 包丁 【用例】ちょっと、その <sup>だいどころ</sup> 台所のながたん <sup>と</sup> 取ってえな。		

5の100	ジャンル	方言・な
	名称	なしたまー
解説	おどろ 驚いた。想定外の。あーびっくり【用例】なしたまー！あんな そうていがいい たら、いつからそんな仲やのん。 なか	

5の101	ジャンル	方言・な
	名称	なま
解説	すこ　ひか　ちゅうと　はん　ぱ 少し。控えめにする。中途半端にする。【用例】「あれ？な はんあま　あさ　た んでこないご飯余っとんのん？」「ワシが朝なま食べたから きのう　すし　のこ　た や。昨日の寿司の残り食べたさかいな」	

5の102	ジャンル	方言・に
	名称	にやすい
解説	かんたん 簡単だ、たやすい【用例】 <sup>えいご</sup> 英語の <sup>べんきょう</sup> 勉強は、にやすいよ。	

5の103	ジャンル	方言・ね	
	名称	ねっから	
解説	もとから 【用例】		

5の104	ジャンル	方言・は
	名称	はしかい
解説	①すばしっこい。②イガイガする。【用例】稲刈したら、背 <small>なか</small> 中がはしかいなあ。	

5の105	ジャンル	方言・は
	名称	はつる
解説	たたく、なぐる 【用例】うわー、〇〇 <sup>くん</sup> 君にはつられた(泣)。 <sup>せんせい</sup> 先生に <sup>い</sup> 言うちやろ。	

5の106	ジャンル	方言・は
	名称	はまころ
解説	<sup>しゃりん</sup> 車輪【用例】 <sup>じてんしゃ</sup> 自転車のはまころに、ゴムがひっかかってしまった。	

5の107	ジャンル	方言・は
	名称	はまる
解説	お <sup>ある</sup> 落ちる【用例】歩いていたら、 <sup>みぞ</sup> 溝にはまってしもたわ。	

5の108	ジャンル	方言・は
	名称	早ういの一
解説	はや かえ早く帰ろう 【用例】くら暗くなってきたから、はや早ういの一。	

5の109	ジャンル	方言・ひ
	名称	ひーさん
解説	なが <sup>あ</sup> あいだ <sup>だ</sup> 長い間【用例】〇〇さん、ひーさん <sup>で</sup> あ <sup>あ</sup> 出会ってないなあ。	

5の110	ジャンル	方言・ひ	
	名称	ひとりでに	
解説	しぜん自然に。「ひとりがでに」とも言う【用例】		

5の111	ジャンル	方言・ひ
	名称	ひよとくる
解説	おちよくる【用例】	

5の112	ジャンル	方言・ぴ
	名称	ぴりぴり
解説	あめ ふ はじ こま あまつぶ すこ ふ ようす あめ 雨の降り始めの。細かい雨粒が少し降る様子 【用例】雨 がぴりぴり降ってきたなあ。はよ、洗濯物いれとこ。	

5の113	ジャンル	方言・へ	
	名称	へたら	
解説	そうしたら 【用例】		

5の114	ジャンル	方言・へ
	名称	へたる
解説	① <sup>すわこ</sup> 座り込む。② <sup>こしょう</sup> 故障する・ <sup>しょうもう</sup> 消耗する【用例】まあ、そんなとこへへたったら、ズボンが <sup>よご</sup> 汚れるで。	

5の115	ジャンル	方言・へ	
	名称	へて	
解説	そして。「へてから」「へてな」「へたら」とも <sup>い</sup> 言う。【用例】		



5の116	ジャンル	方言・へ
	名称	へらへと
解説	むちゃくちゃに。ひどく(たくさん)【用例】 <sup>ことし</sup> 今年は <sup>あた</sup> 当り <sup>とし</sup> 年か <sup>し</sup> 知らんけど、柿 <sup>かき</sup> がへらへととなつとるで。	

5の117	ジャンル	方言・べ
	名称	べっちょない
解説	だい じょうぶ いじょう 大丈夫。異常なし 【用例】ろうかでこけたけど、べっちょないわ。	

5の118	ジャンル	方言・ほ
	名称	ほうける
解説	あほになる、だめになる、なまける、 <sup>むちゆう</sup> 夢中になる【用例】だらだらほうけとったら、あかんでえ。この <sup>とうふ</sup> 豆腐、ほうけてしもうとる。	

5の119	ジャンル	方言・ほ	
	名称	ほかす	
解説	す捨てる【用例】こんなとこへ、こんなもん、ほかしたら、あかんでえ～。		

5の120	ジャンル	方言・ほ
	名称	ほげない
解説	あじけ 味気ない【用例】	

5の121	ジャンル	方言・ほ
	名称	ほっとりぬくい(ほったらぬくい)
解説	きもわる 気持ち悪いほど、ぬるい 【用例】こんなほっとりぬくいもの の飲めんわ・・	

5の122	ジャンル	方言・ほ
	名称	ほでくる
解説	かきまわす ほじくる【用例】	

5の123	ジャンル	方言・ほ
	名称	ほな
解説	では、それなら 【用例】ほな、もう遅 <sup>おそ</sup> うなったし、そろそろいぬわ。	

5の124	ジャンル	方言・ほ
	名称	ほめく
解説	じめじめして、蒸 <sup>むし</sup> し暑 <sup>あつ</sup> い【用例】あいさつで「今日 <sup>きょう</sup> は、特別 <sup>とくべつ</sup> ほめきまんなあ。(蒸 <sup>むし</sup> し暑 <sup>あつ</sup> いですね)。 」などと使う。	

5の125	ジャンル	方言・ほ
	名称	ぼんぼらぼん
解説	よけい しゅうしょく と のぞ むすこ せんてい 余計な修飾をいっさい取り除いたさま【用例】息子に剪定 をさせたら、みんなぼんぼらぼんにしてもたがな。	

5の126	ジャンル	方言・ま
	名称	まいまいこんこん
解説	かいてん 回転する【用例】まいまいこんこんしよったら、め まわ 目が回る でー	

5の127	ジャンル	方言・ま
	名称	まなし
解説	まもなく【用例】ご飯 <sup>はんた</sup> 食 <sup>た</sup> べて、まなしやから、おもちなんか食 <sup>た</sup> べられへんわ。	

5の128	ジャンル	方言・め
	名称	めぐ
解説	こわす 【用例】どうしよう。お茶碗 <sup>ちやわん</sup> をめんでもた。	

5の129	ジャンル	方言・も
	名称	もむない(もみない)
解説	<small>あじ</small> 味がない【用例】ん～、まずくはないけど……でも、ちよつと、もみないなあ。	

5の130	ジャンル	方言・や
	名称	やっぱし
解説	やはり【用例】いま、でんわ電話かかってたか。やっぱしな。そうやとおもったわ。	

5の131	ジャンル	方言・や
	名称	やろこい、やりこい
解説	やわらかい 【用例】このお餅 <sup>もち</sup> まだやろこい(やりこい)で。 <sup>は</sup> 早 <sup>た</sup> よ食べ。	

5の132	ジャンル	方言・ゆ
	名称	ゆうちゃろこ
解説	いってあげましょうか？ <sup>おし</sup> 教えてあげましょうか？の意【用例】あんた、そんなこと知らんの？ <sup>し</sup> ゆうちゃろか？	


5の133	ジャンル	方言・よ
	名称	よーけ
解説	たくさん 【用例】そんなに、おやつよーけ <sup>た</sup> 食べたら、おなか <sup>いた</sup> が痛くなるよ。	


5の134	ジャンル	方言・よ
	名称	よさり
解説	よる夜 【用例】こんなよさに、うろちょろしたらあかんがな。	


5の135	ジャンル	方言・ら
	名称	らっきゃ
解説	だいじょうぶ。 <sup>たん</sup> 単に「らく」とも言う。「 <sup>い</sup> だっきゃ」とも言う。【用例】〇〇さん、 <sup>らいしゅう</sup> 来週 <sup>にちようび</sup> の日曜日は？ らっきゃで。	


5の136	ジャンル	方言・わ
	名称	わっりゃい
解説	ひ　かく　てき 比較的・わりあい 【用例】今日は、わっりゃい <sup>きょう</sup> 温かい <sup>あたた</sup> なあ。	

5の137	ジャンル	方言・わ
	名称	わやくちゃ
解説	むちゃくちゃに。おおざっぱ、 <small>せんさい</small> 繊細でない <small>ようす</small> 様子。【用例】こないに、わやくちゃなことしてからに。	


6の1	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみのげんりょう(こうぞ) 杉原紙の原料(楮)	
解説	<p>コウゾは桑<sup>くわ</sup>の仲間で全国各地の野山に生えている。成木<sup>せいぼく</sup>は3mあまりで4～5月に花が咲き、6月頃に木いちごに似た実になる。葉が落ちる12月に刈り取る。紙の原料として一番多く使われている。加美区で育てたコウゾを使うと他の土地で育ったコウゾより白い紙ができるそうだ。</p>		


6の2	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ げんりょう 杉原紙の原料(トロロアオイ)	
解説	<p>トロロアオイはオクラ<sup>ちゅうごくたいりく</sup>の仲間で中国大陸から伝わってきた。別名ハナオクラとも呼ばれて薄黄色<sup>うすきいろ</sup>の大きな花<sup>かみ</sup>が咲く。紙漉<sup>す</sup>きにはトロロアオイの根から出る粘液<sup>ねんえき</sup>「さな」を使う。「さな」はコウゾ<sup>せんい</sup>の繊維をくっつけるのりのような役目をする。</p>		


6の3	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい 紙漉きの工程	
解説	<p>紙すきには全部<sup>ぜんぶ</sup>で14<sup>こうてい</sup>の工程がある。①こうぞかり ②こうぞそろえ ③こうぞむし ④こうぞもみ ⑤黒かわとり ⑥川さらし ⑦こうぞほし ⑧こうぞたき ⑨こうぞみだし ⑩こうぞみだし ⑪こうぞたたき ⑫さなてぎ ⑬紙すき ⑭紙ほし</p>		


6の4	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮かり)	
解説	<p>霜<sup>しも</sup>が降り、葉<sup>は</sup>が落ちる12月に刈り取る。厚鎌<sup>あつがま</sup>やのこぎりを<sup>つか</sup>使って、切り口<sup>き</sup>が南<sup>みなみ</sup>の方<sup>ほう</sup>を向くようにな<sup>む</sup>なめに刈る。これは、切り口<sup>き</sup>に日<sup>あ</sup>が当たってよく乾<sup>かわ</sup>くようにするため。</p>		





6の5	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮そろえ)	
解説	か と こうぞ おな なが き さぎょう がっこう やく 刈り取った楮を同じ長さに切りそろえる作業。学校では、約79cmにそろえる。		


6の6	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮むし)	
解説	大きなむきむすじかんじかんはんふとほうで蒸す。1時間～1時間半、太い方を下にして蒸す。蒸し上がったら取り出して熱いうちに皮をはいでいく。		


6の7	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮もみ)	
解説	こうぞ あらかわ と あし こま 楮の荒皮をけずり取りやすくするために、足でもみ細かくする。		


6の8	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい くるかわ 紙漉きの工程(黒皮とり)	
解説	しつ よ かみ つく あらかわ たけ つか 質の良い紙を作るために、荒皮をけずる。竹べらを使い、さいしょ かぶ ほう つぎ さき ほう む 最初は株の方へ、次に先の方へ向かっていねいにけずる。		


6の9	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい かわ 紙漉きの工程(川さらし)	
解説	くるかわ こうぞ しろかわ ちか すぎはらがわ いっちゅうや 黒皮をけずりとった楮の白皮を近くの杉原川に一昼夜つける。冷たい水にさらすほど白い紙ができる。		


6の10	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞぼ 紙漉きの工程(楮干し)	
解説	川でさらした白皮を十分乾くまで寒空に干す。		


6の11	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい 紙漉きの工程(きずとり)	
解説	きずを取って美しい繊維だけにする。		


6の12	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮たき)	
解説	乾燥させた白皮を2時間ほど水につけた後にソーダ灰もしくは灰あくを加えて大釜でたいて白皮をやわらかくする。		

6の13	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮みだし)	
解説	に煮えた楮の皮を清流の中で何回も洗って灰のあく抜きと細かなちりを取り除く。		

6の14	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮たたき)	
解説	楮の皮をたたいて繊維を細かくする。昔は手でたたいていたが、今は機械「うす」でたたいている。		

6の15	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい 紙漉きの工程(さなてぎ)	
解説	トロロアオイの根を水につけてやわらかくして、うすでつぶしたものを木綿の袋に入れて粘液(さな)を出す。		

6の16	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい かみす 紙漉きの工程(紙漉き)	
解説	こま 細かくつぶした原料(紙料)を、水をは 張った漉き舟の中に入れてよくかきまぜ、さなをくわえてす ぐす げた すく。漉き具(漉き桁)で漉く。		

6の17	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい かみほ 紙漉きの工程(紙干し)	
解説	す あ かみ き すいふん てきど と のぞ 漉き上がった紙をしばり機にかけて水分を適度に取り除いた後、あと まい ほ いた 一枚ずつ干し板にハケではりつけ、ひ あ 当たりの良い場所 でかんそう 乾燥させる。		

6の18	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし すぎはらがみ お 杉原紙の歴史(杉原紙の起こり)	
解説	すぎはらだに かみ す き はじ 杉原谷で紙を漉き始めたのは、せい きこうはん かんが 7世紀後半だと考えられる。		

6の19	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし ならじ だい 杉原紙の歴史(奈良時代)	
解説	すぎはらがみ ならじ だい はりまがみ よ おも しやきょう きょう 杉原紙は奈良時代には播磨紙と呼ばれ、主に写経(お経をうつ つか を写すこと)に使われていた。		

6の20	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし ならじ だい 杉原紙の歴史(奈良時代)	
解説	ぜんこく かみ す くに ちか はりま いずも みの 全国には紙を漉く国が20近くあったが、播磨は、出雲、美濃、えちぜん 越前などとならんで紙を作る先進国として知られ、てんびょう 天平16年(744年)には1万枚、まんまい てんびょう 天平18年(746年)には1万7千枚の注文が播磨に出されたという記録がまろく のこ 残っている。		

6の21	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし ならじ だい 杉原紙の歴史(奈良時代)	
解説	しょうわ とう みやこ ちょうあん むかし ちゅうごく みやこ てら 承和3年(836年)、唐の都・長安(昔の中国の都)のお寺に つか ぼう も おく もの なか はりまがみ 使わされたお坊さんが持っていった贈り物の中に播磨紙が あったという記録が残っている。		

6の22	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし へいあんじ だい 杉原紙の歴史(平安時代)	
解説	へいあんじ だい か にっ き でんりやく すぎはらしょうし ことば 平安時代に書かれた日記『殿暦』の中に相原庄紙の言葉 がでてくる。11世紀前半、杉原谷地区は藤原家の荘園 せいきぜんはん すぎはらだにちく ふじわらけ しょうえん (貴族の私有地)であったので相原庄紙の名前はそこ きぞく しゅうち すぎはらしょうし なまえ ろう 生まれたのだろう。		

6の23	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし へいあんじ だい 杉原紙の歴史(平安時代)	
解説	すぎはらしょうし さいしよ ふじわらけ つか ふじわら 相原庄紙は、最初は藤原家だけで使われていたが、藤原 け おく もの ほか きぞく てら わた へいあんじ だい お 家から贈り物として他の貴族やお寺に渡し、平安時代の終 ろ ころ かまくらじ だい おお ひとひと つか わり頃から鎌倉時代には、多くの人々に使われるようにな すぎ じ すぎ か すぎはら りやく よ り、「相」の字が「杉」に変わり、「杉原」と略して呼ばれるよ うになった。		

6の24	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし かまくらじ だい 杉原紙の歴史(鎌倉時代)	
解説	かまくらじ だい れきし ほうじょうきゅうだい き なか 鎌倉時代の歴史のあらましを書いた『北条九代記』の中に じょうきゅうがんにん すぎはらがみ る ふ か 承久元年(1219年)に「杉原紙はじめて流布す」と書かれて いる。それまで京都の貴族社会でしか使われていなかった すぎはらがみ はじ かまくらばくふ おく わだい 杉原紙が、初めて鎌倉幕府に贈られ大きな話題になったこ とが分かる。		

6の25	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし かまくらじだい 杉原紙の歴史(鎌倉時代)	
解説	<p>それまで経本(お経を書いた本)は全て手書き(写経)だったが、高野山では真言宗を広めるために経本をたくさん作ろうと考え、経本の印刷を始めた。それに一番適した紙として杉原紙が選ばれた。</p>		

6の26	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし かまくらじだい 杉原紙の歴史(鎌倉時代)	
解説	<p>鎌倉では、杉原紙は御下文紙と呼ばれて辞令や通達文書などを書く公文書用紙として用いられていた。</p>		

6の27	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし かまくらじだい 杉原紙の歴史(鎌倉時代)	
解説	<p>鎌倉時代には、『武士は杉原紙以外の紙には文を書いてはいけない。』というきまりがあった。</p>		

6の28	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし むろまちじだい 杉原紙の歴史(室町時代)	
解説	<p>武家社会で贈り物(献上)するときは、必ず杉原紙一束(10帖)と扇一本を贈る「一束一本」の習わしがあった。</p>		

6の29	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし むろまちじだい 杉原紙の歴史(室町時代)	
解説	あしかがよしまさ しやうぐん ころ むろまちじだい もつと ぶんか はな 足利義政が将軍だった頃は、室町時代でも最も文化が華 やかな頃だったので、紙の需要も増えて、年貢として近衛 家に納める量も今までになく大量だった。近衛家からはと なりの松井庄へも紙を納めよという命令がきて、松井庄は すぎはらのしょう すぎはらがみ か おさ 杉原庄から杉原紙を買って納めた。		

6の30	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし むろまちじだい 杉原紙の歴史(室町時代)	
解説	むろまちじだい こうき いっぱんしゃかい すぎはらがみ おく いっそく 室町時代の後期になると一般社会にも杉原紙を贈る(一束 一本)の風習が広がり、全国各地で杉原紙に似た紙をつく りそれを「〇〇杉原」といってそれぞれの地方で杉原紙とし て使われていた。「〇〇杉原」は全国に20ほどあり、江戸 時代まで続いた。		

6の31	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし あづちももやまじだい 杉原紙の歴史(安土桃山時代)	
解説	てんしょう ねん とよとみひでよし あづちじやう おだの ぶなが たず 天正9年(1581年)、豊臣秀吉が安土城の織田信長を訪ね たとき、行列の先頭に杉原紙300束があったと太閤記に 記されている。		

6の32	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし えどじだい 杉原紙の歴史(江戸時代)	
解説	えどじだい ぜんはん てんな ねん いはらさいかく しゅつばん 江戸時代の前半、天和2年(1682年)に井原西鶴が出版し た『好色一代男』の中に、「杉原紙にたより書きつづり」とあ り、杉原紙が町民のくらしにも広まっていったことが分か る。		



6の33	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし えどじだい 杉原紙の歴史(江戸時代)	
解説	すぎはらがみ じょうぶ 杉原紙は丈夫だったので、書籍用の用紙や浮世絵や錦絵 はんが ようし の版画の用紙にもたくさん使われた。		

6の34	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし えどじだい 杉原紙の歴史(江戸時代)	
解説	はりまち いき じんじゃ ごへい つく かみ すぎはらがみ つか 播磨地域の神社の御幣を作る紙に杉原紙が使われた。ま た、江戸時代の東播磨地域の古文書は、全て杉原紙に書 かれている。		


6の35	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし えどじだい 杉原紙の歴史(江戸時代)	
解説	せいきこうはんごろ いま こうぞ は きなえ 18世紀後半頃から今まで楮が生えていたところに木苗を うえ はじ りんぎょう さか ぶんせい ねん 植え始めて林業が盛んになってきた。文政3年(1820年)の てんぽう だい ころ しょくりょうぶそく こお づく 天保の大ききの頃には食糧不足で凍りこんにやく作りが きゅう さか ようさんぎょう さか けん すぎ 急に盛んになった。養蚕業も盛んになり、300軒あった杉 はらがみ す いえ すく 原紙を漉く家がどんどんと少なくなっていった。		

6の36	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし めいじ 杉原紙の歴史(明治)	
解説	めいじ ねん きかいず せいしほう つた せいようし 明治5年(1872年)には機械漉きの製紙法が伝わり西洋紙 ぜんこく ひろ ころ きかいず かみ ようし てす が全国に広がった。この頃から機械漉きの紙を洋紙、手漉 きの和紙を「生漉」と呼んでいた。		


6の37	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし めいじ 杉原紙の歴史(明治)	
解説	めいじ ねん ねん ころ え ど じ だ い しずおかけん す 明治15年(1882年)頃江戸時代のはじめに静岡県で漉き はじ 始めた「みつまた」を原料とした半紙を杉原谷でも「みつま た」を使って漉くようになり、杉原紙はときどき漉く程度になっ た。		

6の38	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし めいじ 杉原紙の歴史(明治)	
解説	めいじ ねん ねん ころ さか けん すぎ 明治45年(1912年)頃、盛んなときには300軒もあった杉 はらがみ す いえ けん へ けん うち 原紙を漉く家が30軒に減ってしまっていた。30軒の内20 軒が三谷にあった。		


6の39	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし たいしょう 杉原紙の歴史(大正)	
解説	それまでわか ひと ほか し ごと ろうじん ほそぼそ つづ いていたかみす たいしょう ねん ねん さいご のこ うたかや 弥之助さんもとうとう紙漉きをやめてしまい。杉原紙が途絶 えてしまった。		


6の40	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	とうじ わ し けんきゅう しんむらいずるはかせ じゅがくぶんしょうはかせ 当時、和紙の研究をしていた新村出博士と寿岳文章博士 がしょうわ ねん すぎはらだに おとず ちょうさ けつ 昭和15年(1940年)8月2日、杉原谷を訪れ、調査の結 か すぎはらがみ はつしょう ち すぎはらだに しんむらひか 果、杉原紙の発祥の地がこの杉原谷であることを新村博 士は「わしけんきゅう じゅがくはかせ わ し ふ ど き 和紙研究」に、寿岳博士は「和紙風土記」にくわしく書 かれた。		

6の41	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)
解説	しょうわ ねん もりの いちじ ゆうし すぎ 昭和41年(1966年)、森野一司さんたち有志によって「杉 はらがみはっしょうのち きねん ひ すぎはらだにしょうがっこう こうてい 原紙発祥之地」の大きな記念碑が杉原谷小学校の校庭に た だいじ しんむらはかせ すぎはらかみの れきし じゅがくはか 建てられた。題字を新村博士が、杉原紙の歴史を寿岳博 せ か げんざい すぎはらがみけんきゅうしょ うつ 士がそれぞれ書かれた。現在は、杉原紙研究所に移され ている。	




6の42	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)
解説	しょうわ ねん きょうどしか ふじたさだお 昭和45年(1970年)、郷土史家の藤田貞雄さんによって すぎはらがみ はっこう 「杉原紙」が発行された。	


6の43	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん わか ころ かみす ひと ちゅうしん どう 昭和45年(1970年)、若い頃に紙漉きをした人を中心に道 ぐ あつ うたかやのすけ 具が集められ、宇高弥之助さんの手によって50年ぶりに すぎはらがみ す 杉原紙が漉かれた。		
			

6の44	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん ちょうりつ すぎはらがみけんきゅうしょ た 昭和47年(1972年)、町立の「杉原紙研究所」が建てられ、 むかし ぎ ほう ほんかくてき すぎはらがみ す はじ 昔どおりの技法で本格的に杉原紙が漉かれ始めた。		

6の45	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ    れきし    しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)
解説	しょうわ    ねん    ねん    ど       すぎはらだにしょうがっこう    かみす    はじ 昭和56年(1981年)度から杉原谷小学校で紙漉きが始ま る。	


6の46	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ 昭和58年(1983年)、杉原紙が兵庫県 <small>ねん</small> の重要無形文化財 <small>じゅうようむけいぶんかざい</small> に指定 <small>してい</small> された。		

6の47	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん こうべ ひら 昭和60年(1985年)、神戸で開かれたユニバシアード大会 ひょうしょうじょう しょう の表彰状に使用された。		


6の48	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ 昭和62年(1987年)、 <sup>ねん</sup> 杉原谷小学校 <sup>すぎはらだにしょうがっこう</sup> の校庭に紙漉実習室 <sup>こうてい かみすきじっしゅうしつ</sup> 「 <sup>しゅんらん いえ</sup> 春蘭の家 <sup>た</sup> 」が建つ。		

6の49	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ　れ　きし　へいせい 杉原紙の歴史(平成)
解説	へいせい　ねん　こうぞ　じきゅうりつ　あ　きゅうかみちょうな 平成6年(1994年)、楮の自給率を上げるため、旧加美町 い　こうぞ　こ　かぶさいばいうんどう　はじ 内で楮の「1戸1株栽培運動」が始まる。	




7の1	ジャンル	特産品	
	名称	ひやくにち 百日どり	
解説	地元加美区のおいしい水と空気の中で100日間かけてじっくりと育てられているにわとり。放し飼いにされているので運動量が多く、その分、肉がひきしまって、とても、おいしい。		


7の2	ジャンル	特産品	
	名称	ゆうせいらん 有精卵	
解説	地元播州地鶏・百日どりのオス鶏とメス鶏が交尾して受精した卵である。あの有名な「小山ロール」でも使われている。		


7の3	ジャンル	特産品	
	名称	きよしま米	
解説	清嶋地区(山寄上・鳥羽・清水)の冷たくてきれいな水からできているコシヒカリ。兵庫県の認証米に指定されている。毎年、伊勢神宮へ献上米として奉納されている。		


7の4	ジャンル	特産品	
	名称	ラベンダーパーク多可・卵かけご飯	
解説	地元の有精卵で食べる卵かけご飯。卵かけご飯専用の醤油油がたくさん置いてあり、お好みで食べられる。おかわり自由である。		





7の5	ジャンル	特産品	
	名称	ラベンダーパーク多可・にく <sup>まい</sup> めん	
解説	ラベンダーパーク多可で食べられる米でできた <sup>めん りょうり</sup> 麺料理。もちもちして、おいしい。		


7の6	ジャンル	特産品	
	名称	こはる <sup>まい</sup> 米	
解説	<sup>おやこう こう</sup> 親孝行で <sup>かけい</sup> 家計を助けた森安こはるさんにちなんでむらづくりに取り組む市原集落が <sup>とくさん ひん</sup> 特産品として販売しているお米。 (コシヒカリ)		


7の7	ジャンル	特産品	
	名称	こお <sup>こお</sup> 凍りこんにゃく	
解説	300年 <sup>いじょう</sup> 以上前から作られているこんにゃくの <sup>ほぞん しょく</sup> 保存食。「幻の凍りこんにゃく」とも呼ばれている。昔ながらの <sup>て さぎょう</sup> 手作業で寒い12～2月に作られており、例えば、製品を白くするのは「 <sup>てん び</sup> 天日」で、乾燥は「 <sup>かんそう しぜん</sup> 自然風乾燥」である。食用だけでなく「 <sup>せんがん</sup> 洗顔用スポンジ(つやの <sup>たま</sup> 玉)」として <sup>しょうひん</sup> 商品化されている。		


7の 8	ジャンル	特産品	
	名称	ハーモニーパークのりんご、梨、栗など	
解説	<p>ハーモニーパークのりんごは兵庫県認証商品になっている。実に直接農薬がかからないように二重の袋を被せて栽培しているの、安心して皮ごと食べられる。りんご狩りは9月～11月まで楽しめる。しかも、食べ放題。他にも、梨、栗など果物がいっぱい。</p>		

7の 9	ジャンル	特産品	
	名称	はせがい紅茶	
解説	<p>箸荷地区で摘まれた一番茶で作った紅茶。そばく風味で評判は絶好調また、箸荷紅茶の茶葉をねりこんだ紅茶うどん(乾麺と冷凍麺の2タイプ)。茶葉をねり込んだ紅茶クッキーがある。</p>		


7の 10	ジャンル	特産品	
	名称	ジェラテリアふれっしゅあぐり館のアイスクリーム	
解説	<p>原料には、地元箸荷牧場の牛乳を使っている。また、加美区産の素材を材料にしている。季節限定のものもある。</p>		


7の 11	ジャンル	特産品	
	名称	ジェラテリアふれっしゅあぐり館のシカ肉料理	
解説	<p>低カロリー、低脂肪、高タンパク、栄養価に優れた健康食品である。「シカタリアン」(ナポリタン)やシカ肉ピザ、パイなどが食べられる。</p>		


7の 12	ジャンル	特産品	
	名称	な たね な 菜種の菜っちゃん	
解説	菜の花エコプロジェクト(観音寺、箸荷、門村、杉原)が商品 化した菜種油。 ん か な たね あがら		


7の 13	ジャンル	特産品	
	名称	かんのん じ げんぼく 観音寺原木なめこ	
解説	観音寺村づくりクラブが栽培しているなめこ。伐採される桜 の木を有効活用して作られている。 さくら ぼっさい さいばい ゆうこう かつよう		

8の1	ジャンル	じんぶつ 人物
	名称	やまぐち もきち こ ころ 山口茂吉(子どもの頃)
解説	きょうど かじん たんか つく ひと やまぐち もきち めいじ ねん 郷土の歌人(短歌を作る人)山口茂吉は、明治35年(1902 ねん きよみず のうか う きよしま じんじょうしょうがっこう そつぎょうご ちち 年)清水の農家に生まれた。清島尋常小学校卒業後は父 はは とも やま しごと はたけ さぎょう すこ ひま や母と共に山の仕事や畑の作業をしながら少しの暇をみ つけてはほん よ べんきょうず こ づけては本を読むなど勉強好きの子どもであった。	

8の2	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち しょうねん せいねん 山口茂吉(少年～青年)	
解説	たいしやう ねん ねん さい とき じつぎやうか ゆめみ 大正7年(1918年)16歳の時、実業家を夢見てふるさとを で ねん こうべ はたら えいご べんきやう 出て、1年あまりは神戸で働きながら英語の勉強などをし た。その後、大正9年(1920年)の春東京へ出て、働きなが らくろ べんきやう たいしやう ねん ねん ちゆうおうだいがく しょうがくぶ ら苦勞して勉強し、大正13年(1924年)に中央大学商学部 そつぎやう を卒業した。		


8の3	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち たんか みち 山口茂吉(短歌の道へ)	
解説	かんとう だいしんさい ご ふけいき しゅうしょくなん とき みごと 関東大震災後の不景気で就職難の時であったが、見事、 めいじ せいめいほけん がいしや とうきやう ほんしや にゆうしや しゃかいじん 明治生命保険会社東京本社に入社した。社会人となった もきち まえ かんしん たんか みち 茂吉は、前から関心をもっていた短歌の道をこころざし「ア ララギ」に入学し、作歌の勉強に励んだ。そして、翌年、山 ぐち もきち じんせい おお えいきやう さいとう もきち であ 口茂吉の人生に大きな影響をおよぼした斎藤茂吉と出会 い、助手として「アララギ」の編集などに活躍した。二人のこ とを「山形の大茂吉、杉原の小茂吉」又は「アララギの大茂 吉と小茂吉」と人々は呼んだ。		

8の4	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち かつやく 山口茂吉(活躍)	
解説	しょうわ ねん ねん がつ しょうじょ かしゅう はじ だ かしゅう あか 昭和16年(1941年)1月に処女歌集(初めて出す歌集)「赤 つち はっこう よくとし かしゅう すぎはら はっこう しんしん かじん 土」を発行し、翌年には歌集「杉原」を発行し、新進歌人の なか だいいちにんしゃ ひょうか 中で第一人者だと評価された。		


8の5	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち やまい たたか 山口茂吉(病と闘いながら)	
解説	せんそうちゅう かるう ろくまくえん びょうき つぎつぎ 戦争中の過労によって肋膜炎という病気になってから次々 さまざま びょうき たんか かつどう つづ しょうわ に様々な病気になりながらも短歌の活動を続け、昭和21 ねん ねん だい かしゅう かいじつ しゅっぱん よく ねん ねん 年(1946年)に第3歌集「海日」を出版。翌22年(1947年)に かし そうかん しょうわ ねん ねん は歌誌「あざみ」を創刊した。また、昭和25年(1950年)1 がつ ひら きゅうちゅうねん うたかい はじ みんかんじん はじ 月に開かれた宮中新年歌会始めに民間人として初めてそ かい さんか き ゆる のち しょうわ ねん の会に参加して聴くことを許された。その後、昭和26年 ねん ねん だい かしゅう たかしみず しゅっぱん しょうわ ねん (1951年)には第4歌集「高清水」を出版し、昭和27年 ねん ねん しんぶんしゃ ざっし しゃ せんじゅ かつ (1952年)からは、NHK、新聞社、雑誌社の選者としても活 やく 躍した。さらに、しょうわ ねん ねん ねん さいげつ 昭和28年(1953年)からは5年の歳月をか こうはい ふたり とも さいとう もきち ぜんしゅう ぜん かん かんせい け後輩二人と共に「斎藤茂吉全集」(全56巻)を完成させ た。そして、よく しょうわ ねん ねん がつ にち さい わか 翌昭和33年(1958年)4月29日、55歳の若さ えいみん で永眠した。		

8の6	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち ご 山口茂吉(その後)	
解説	やまぐち もきち しご ねんた しょうわ ねん ねん がつ ふじん 山口茂吉の死後2年経った昭和35年(1960年)6月、夫人 て だい かしゅう てっせん はっこう の手によって、第5歌集「鉄線花」が発行された。		


8の7	ジャンル	じんぶつ 人物
	名称	やまぐち もきち かひ 山口茂吉(歌碑)
解説	<div>はる ゆきみねぶ さむ 春の雪峯降りしつづ寒からむ</div> <div>わがふるさとの村を思へば</div> <div>きよみず ほくぶ たいいくかん まえにわ うた きざ か ひ 清水にある北部体育館の前庭にこの歌が刻まれた歌碑が</div> <div>た 建っている。</div>	




8の8	ジャンル	人物
	名称	山口茂吉(ふるさとにちなんだ作品)
解説	春の雪嶺降りしつづ寒き日をわれ母のへに一日居りつづ ふるさとの杉原の夜の空はれて螢のとばむ夜ごろぞ今は ふるさとの高山裾の木ぬれにし 鳴くひぐらしのこゑのさびしさ 丹波路の氷上へ越ゆる峠見ゆ 萱野はいまだ枯いろにして	

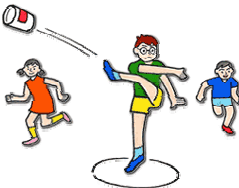



8の9	ジャンル	じんぶつ 人物
	名称	やまぐち もきち さくひん 山口茂吉(ふるさとにちなんだ作品)
解説	あしびきの <sup>やま</sup> 山より <sup>くだ</sup> 下る <sup>ゆうぐも</sup> 夕雲に <sup>ふもと</sup> 麓の <sup>てら</sup> 寺の <sup>かね</sup> 鐘はひびかふ <sup>あさ</sup> 朝まだ <sup>やま</sup> き山の <sup>はたけ</sup> 畑に <sup>き</sup> 来りけり <sup>こんにやくだま</sup> 蒟蒻玉を <sup>ちち</sup> 父と <sup>ほ</sup> 掘るべく いまだ <sup>ひ</sup> 日の <sup>く</sup> 昏れざるに <sup>な</sup> 鳴く <sup>しか</sup> 鹿のこゑ <sup>ふえ</sup> 笛吹くごとし <sup>た</sup> 多 <sup>か</sup> 可の <sup>の</sup> 野の <sup>かみ</sup> 上に <sup>くわ</sup> 桑の <sup>み</sup> 実 <sup>くち</sup> に <sup>そ</sup> 口くろく <sup>は</sup> 染めわが <sup>は</sup> 食みし いとけなき <sup>ひ</sup> 日を <sup>おも</sup> 想へりけふは	

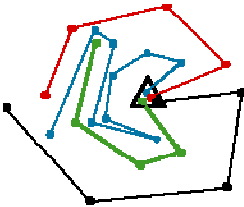






8の10	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち うた さんぽみち 山口茂吉(歌の散歩道)	
解説	きよみず むら なか やまぐち も きち うた しる ひょうちゆう ほんた 清水の村の中には山口茂吉の歌を記した標柱が28本立 てられており、茂吉の歌に親しみながら散歩ができる歌の さんぽ みち 散歩道がある。		


9の1	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	かん 缶けり	
解説	1人がオニになる。広場の中心に空き缶を置く。誰でもいいから缶を蹴る。それを、オニが取りに行ってる間に他の子は隠れる。隠れた子を鬼がみつけると、捕まえることができる。しかし、全員が捕まる前にまた、誰かが缶を蹴れば、つかまったこども達もまた、逃げ隠れできる。全員が捕まるまで終わらないゲーム。		


9の2	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び
	名称	どうま うまの 胴馬・馬乗り
解説	<p>6人から12人ぐらいで遊ぶ。2組に分かれ、「馬組」は揺り動かして乗る者を落とそうとし、「乗り手組」はできるだけ乱暴<sup>のりてくみ</sup>にのって馬をつぶそうとする遊び。馬組の1人は立ち木や壁などを背にして立ち、次の人はその股<sup>うまの</sup>の間に頭を入れて、次々とつながって馬をつくる。乗り手組は全員が乗れるように、先頭の子はなるべく遠くに飛び乗り、飛びはねて馬をつぶそうとする。途中<sup>とちゅう</sup>で馬がつぶれれば、もう一度やりなおし、また乗り手が1人でも馬から落ちれば、馬組と乗り手組は交代<sup>こうたい</sup>する。全員が運良<sup>うんよ</sup>く乗ったら、立っている子と乗り手の先頭<sup>せんとう</sup>の子がジャンケンをして、負けた方が次の馬になる。</p>	
		

9の3	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	くぎ 釘さし	
解説	2人ぐらいから4人ぐらいで遊びます。ジャンケンで勝った人から順番に、地面に左廻りに釘(五寸釘)を打ち込みます。前のところと次のところを直線で結び、他の人の釘を自分の線で囲んで出られなくした人の勝ちになります。		


9の4	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	えすけん Sケン	
解説	Sの字の <sup>しゅうへん</sup> 周辺に島を4～5個つくり、Sの字内と島では両足 <sup>りょうあし</sup> で行動できる。その他はケンケン。Sの字の奥にそれぞれ宝をつくり、それを踏めば勝ちということで、次のゲームが始まる。		


9の5	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	ツバキの <sup>み</sup> 実の <sup>ふえ</sup> 笛	
解説	石やサンドペーパーなどでこすり、てっぺんに穴をあけ、切り取った穴に楊枝 <sup>ようじ</sup> などを入れ中身をかき出す。 <sup>したくちひる</sup> 下唇にあて、さらに上唇で覆 <sup>うわくちひる</sup> うようにして強く息を吹き込む。今の子はどんぐり <sup>つく</sup> で作っている。(どんぐり <sup>ふえ</sup> 笛)		

9の6	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	おはじき	
解説	①おはじきをする”おはじき玉”(ガラス玉)を参加者が何個ずつ出す。②そのおはじきを、片手の中でじゃらじゃらさせて地面(またはテーブル)にばらまく。③ジャンケンで <sup>じゅんばん</sup> 順番を決める。勝った物からスタートおはじきのどれかの2つ(A、B)をぶつけ合う。うまくぶつかったら、そのAとBの間に他のおはじきを通す(通過させる)。④うまく通ると、その通った石がもらえる。その際、 <sup>ほか</sup> 他のおはじきにぶつかってはいけない。 <sup>さいご</sup> 最後の2つになったら、間に指でシキリを切ってゲット。		


9の7	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	たけ 竹とんぼ	
解説	竹をプロペラ <sup>じょう けず</sup> 状に削って、その羽の <sup>じゅうしんぶ</sup> 重心部に <sup>じく</sup> 軸をつけた遊び道具。竹軸を両手のひらでぐるぐるもみ回し、その反動 <sup>どうぐ たけじく</sup> で羽を <sup>はね かいてん</sup> 回転させ、飛ばして遊ぶ。		


9の8	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	たけうま 竹馬	
解説	2本の竹さおにそれぞれ <sup>てきとう</sup> 適当な高さの足かけをつくり、馬になぞらえてこれに乗り、竹の上部 <sup>にぎ</sup> を握って歩きます。		




9の9	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	めんこ	
解説	<p>地面に全員のめんこを1枚ずつ置く。それを裏返してめんこを手に入れるのが目的である遊び。地面や相手のめんこに自分のめんこをぶつける事で生じる風圧を利用するのが重要になってくる。</p>		


9の10	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	たから 宝ふみ	
解説	<p>地面に円を描き、その周りに曲線で道をつくる。わざと細くしたり広くしたりして描く。広い部分は安全地帯となる。鬼に押し出されたり引き込まれたりしないようにする。中に入り相手を押し出したりして、宝を踏めば勝ち。</p>		

9の11	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	オニごっこ	
解説	1人がオニになって、他の者たちを追い回し、つかまった者が次のオニとなる遊び。		

9の12	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	おしくらまんじゅう	
解説	複数人で互いに背中や肩を押し合っている遊び。皆で押し合うと暖かいので、主に秋や冬などの寒い時期に行う。「おしくらまんじゅう、押されて泣くな」という掛け声をかけて遊ぶ。		

9の13	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び
	名称	たこ 凧あげ
解説	たこ 凧を空高くあげたり、みんなで高さを競 <sup>きそ</sup> ったりする。	

A cartoon illustration of a young boy with brown hair, wearing a blue long-sleeved shirt and green pants, standing on the ground and pulling a string. The string goes up to a kite that is shaped like a girl with blue hair, wearing a red and white striped shirt and blue pants, flying in the sky. The kite has red stars on its wings.

9の14	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び		
	名称	すいめんいしな 水面石投げ		
解説	溜め池や川のあるところで、まず平べったい石を探し、池や川の水面で石が跳ね飛ぶよう投げる。その跳ね飛ぶ回数を競う遊び。			

9の15	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び
	名称	すいらいかんてい すいくち・水雷鑑定
解説	オニごっこの一種。それぞれメンバーを集めて、水雷、艦艇、艦長等の役割を決める。水雷は艦艇に勝ち、艦艇は艦長に勝ち、艦長は水雷に勝つ。三竦みの役割分担で、その標識は野球帽の被り方(つばを前に、後に、横に)で表し、入り乱れて負ける相手を避けながら勝てる相手を捕虜にする。艦長が捕虜になるか他の全員が捕虜になるかで勝ち負けが決まる。	

9の16	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	うずまきじゃんけん	
解説	<p>地面に渦巻きの絵を書いて、2つのグループに分けてうずまきの中心と外に分かれて、よ〜い・どんで走ってぶつかったらじゃんけんをする。負けたら次の人がスタートする。早く相手の陣地に入ったら、勝ち。</p>		


9の17	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び
	名称	ビー玉 <sup>だま</sup>
解説	自分の目の高さからビー玉を落として、床に置いてあるビー玉に命中させるという遊び。この遊びは2人くらいでやるのがおすすめ。こちらも見事当てることができれば、そのビー玉はもらえる。結構高い位置から落とすので、かなりの衝撃。ビー玉が飛び散ってもいい場所で遊ぶこと。その他にもいろんな遊び方がある。	

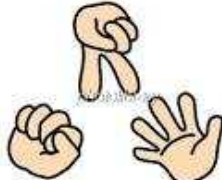
9の18	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び
	名称	かげ 影ふみ
解説	<p>晴れた日に外に出てみんなで走り回れるような大きな円を地面に描く。ジャンケンをしてオニを1人決める。みんなはオニに影を踏まれないように円の中を逃げ回る。オニは他のみんなの影を踏まなければならない。オニに影を踏まれた人が今度はオニになる。</p>	

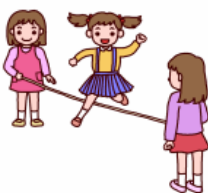
9の19	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	くつ靴とばし	
解説	みんながはいているくつをけ蹴り出して明日の天気をうらな占う。 「あーした てんきに なーれ」と言いながら靴を飛ばす。靴が表向きになったら「晴れ」裏向きになったら「雨」横向きになったら「くもり」という具合。		  





9の20	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	おてだま	
解説	おじゃみを使って、遊ぶ。		



9の21	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び		
	名称	どんほい		
解説	ぐんかん <small>ちんぽつ</small> 軍艦(グー)、沈没(チョキ)、破裂 <small>はれつ</small> (パー)で、じゃんけんで勝ちに当たる人が、かけ声をかける。同じ手になると、かけ声をかけた人の勝ち。			

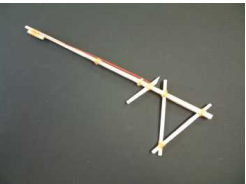
9の22	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	ゴムとび	
解説	ルールは色々。		


9の23	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び		
	名称	ひみつきち 秘密基地づくり		
解説	山や林の中で、子供だけのひみつきち秘密基地を作る。			

9の24	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	まりつき	
解説	今のバレーボールのボールぐらいの大きさのゴムボールを使う。1人ずつまりを「まりつき歌」にあわせて、まりをつき、フレーズごとに足をまりの上で回し、最後に <small>さいご</small> に <small>また</small> 股 <small>あいた</small> の間をくぐらせ、後ろ手で、お尻 <small>しり</small> のあたりで、まりつき歌が <small>あ</small> 終わるのに合わせてキャッチして完了。		


9の25	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	くさずもう 草相撲	
解説	草を切ってくる。切ってきた草をお互いにX交差するように持つ。そして、力で引き合いをする。切れたら負け。それだけのゲーム。単純なだけに草のある限りつづく。学校帰りにはもってこいの遊び。		


9の26	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	わりばしてっぽう 割箸鉄砲	
解説	わりばしと輪ゴムで鉄砲をつくり、また <sup>てっぽう</sup> 標的もつくり、当てあ <sup>ひょうてき</sup> いっこをする。		





9の27	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	だるま <sup>お</sup> 落とし	
解説	一番上にいる、だるまさんを転がさないように、下の積み木 <sup>きづち</sup> を木槌 <sup>ぬ</sup> でたたき抜く遊び。		

9の28	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	パチンコ	
解説	形の良いY字型の枝をさがし、強いゴムを取り付け、的をつくり当てっこする。		



9の29	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	だるまさんがころんだ	
解説	<p>みんなでジャンケンをしてオニを1人<sup>き</sup>決める。他のみんなはオニから少しはなれたところにスタートラインを引き、そこから「はじめの1歩！」と言ってオニに近づく。オニは後ろを向いたまま「だるまさんがころんだ」と大きな声でさけんでから<sup>ふ</sup>振り向く。その時、みんなは動いてはいけない。オニは<sup>だれ</sup>誰か動いていないかをチェックする。動いた人はオニに<sup>つか</sup>捕まりオニと手をつないで、みんなの<sup>たす</sup>助けを待つ。</p>		

9の30	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	ゆびずもう 指相撲	
解説	<p>2人で向き合います。お互い<sup>たが</sup>の手(右手でも左手でもいい)を<sup>にぎ</sup>握りあう。この時、<sup>おやゆび</sup>親指は立てておく。「よーいドン」の合図で相手の親指を押さえつける。押さえつけた人は10数えたら勝ちになる。</p>		

9の31	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	あやとり	
解説	<p>ひもや毛糸でいろんな形を作って遊ぶ。あやとりには1人で遊ぶ「ひとりあやとり」や2人で遊ぶ「ふたりあやとり」などがある。あやとりで作れる形には『ほうき』・『一段はしご』・『二段はしご』などいろんな形ができる。</p>		

9の32	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	かんば かん 缶馬(缶ぽっくり)	
解説	<p><sup>あ</sup>空き<sup>かん</sup>缶にクギなどで穴をあける。そこにひもを通して中に結び目を作り、ひもが抜けないようにする。1人2こつくる。缶の上に乗りひもをもつ。<sup>たけうま</sup>(竹馬の竹の代わりに缶をつかったもの)<sup>きょうそう</sup>競争をして遊んでもおもしろい。</p>		